入学手続について

1　入学手続方法

入学手続の一部及び入学料の納入は，出願の時に用いるUCAROを引き続き使用して行います。

詳細は，「入学生の手引」（UCARO の入学手続ページ（合格者のみ閲覧可）でダウンロードできます。）により確認することになりますが，概略は以下のとおりです。

(1)　入学手続期間内にUCAROにログインして，必要事項を入力する。
(2)　UCAROのシステムを利用して，入学料支払に関する手続を行い，入学手続期間内にコンビニエンスストア等から入学料を振り込む。
(3)　入学手続書類送付先へ郵送が必要な書類を，指定期間内に必着で届くよう，簡易書留・速達郵便で送付する。

2　納入金

区　　分	金　　額	支払い時期
入学料	**282,000 円** （夜間主コースは **141,000 円**）	入学手続時に支払い
授業料（年額）	**535,800 円** （夜間主コースは **267,900 円**）	5 月・10 月に半期分を支払い （又は，5 月に年額を一括して支払い）

（記載の金額は，令和８年７月現在のものです。）

納入金の額及び具体的な納入方法等の詳細並びに高等教育の修学支援新制度(入学料・授業料の減免及び給付奨学金)については，「入学生の手引」によりお知らせします。

（注）　1　高等教育の修学支援新制度(入学料・授業料の減免及び給付奨学金)に申請する場合は，入学料・授業料ともに，入学後に本学からの決定通知があるまでは納入しないでください。
2　既納の入学料は，いかなる理由があっても返還しません。
3　入学料の改定が行われた場合には，改定後の金額を納入することになります。
4　在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定後の金額を納入することになります。

3　こども性暴力防止法に関する留意事項及び同意について

「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」により，教員免許の資格取得に必要な教育実習・介護等体験，インターンシップ，ボランティア活動等に参加する学生は，性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。

本学では，上記制度の趣旨に鑑み，入学に際し，関連事項についてあらかじめ同意を得ることとしています。留意事項及び同意に関する詳細については，次のホームページを参照してください。

https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/koseibouhou.html

4　長期履修制度

次の①～④のいずれかに該当する者を対象として，修業年限を超えて一定の期間にわたり，計画的に教育課程を履修して卒業することができる制度があります。

① 職業を有し，かつ，就業している者（アルバイトとして就業する者を含む。）で，学修時間の確保が著しく困難であるもの
② 家庭において家事，育児及び介護を行う者で，学修時間の確保が著しく困難であるもの
③ 身体障害，知的障害，精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の機能の障害がある者で，学修時間の確保が著しく困難であるもの
④ 本学フェニックス入学制度により入学した者

この制度による授業料は，修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

なお，本制度適用の可否や長期履修期間の年限等については，各学部で異なりますので，志望する学部等照会先に照会してください。

欠員補充について

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない場合は，追加合格による欠員補充を行うことがあります。

また，必要に応じて，欠員補充第２次募集により欠員補充を行うこともあります。

(1) 追加合格

事　　項	内　　容
実施予定学部	合格者又は入学手続完了者が，入学定員に満たない学部・学科等
追加合格対象者	いずれの国公立大学にも入学手続をしていない者
実施予定期間	令和９年３月28日から３月31日まで インターネット出願で登録した志願者住所・連絡先へ，電話等により直接本人に連絡します。 本学からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。
入学手続	追加合格者の入学手続は，**入学手続についての１ 入学手続方法**に準じて行いますが，詳細は，追加合格通知の際に連絡します。 （注）国公立大学に入学手続を完了した者は，これを取り消して本学への入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充第２次募集

合格者又は入学手続完了者が入学定員に満たない学部・学科等を対象に，必要に応じて欠員補充第２次募集を行うことがあります。

実施する場合の募集人員，出願資格，出願期間，出願手続，入学者選抜方法等（令和９年度大学入学共通テストの利用教科・科目を含む），合格者発表及び入学手続は，本学ホームページに掲載する「欠員補充第２次学生募集要項」により確認してください。

なお，欠員補充第２次募集では，「本学が指定する英語民間試験の活用制度」は適用されません。そのため，本学の指定する条件をすべて満たした場合でも，大学入学共通テストの『英語』の得点を満点とみなす制度の対象となりません。

令和9年度広島大学学生募集に伴う試験成績（個人情報）の開示について

1　本学入学者選抜のインターネット出願登録時に試験成績の開示を申請した者に限り，以下の期間中にUCARO上で開示します。

※ 以下の開示期間外は一切確認できなくなりますので，ご注意ください（必要な場合は期間内に保存してください。）。

開示期間	**令和9年4月21日から5月31日**
申請方法	**インターネット出願登録時に試験成績の開示を申請してください。** ▶開示手数料として出願登録1件につき300円が入学検定料に加算されます。 申請後に本学を受験しなかった場合も，開示手数料は返金できません。
開示方法	**開示期間中にUCAROにログインし，受験一覧の「成績照会」から確認してください。** UCARO　https://www.ucaro.net/  ※　**開示内容はUCARO上でのみ確認可能です。**メールや電話による開示はできません。 ※　出願時に登録したUCAROのID(メールアドレス)及びパスワードを引き続き使用しますので，忘れないように管理してください。 なお，パスワードを忘れた場合は，UCAROからご自身で再設定できます。

2　開示する個人に関する試験成績は下表のとおりです。

	区分	開示内容
①	一般選抜	大学入学共通テスト及び個別テスト等の科目別の得点，合計点並びに総合点 個別テスト等の科目別の評価（段階評価を含む） 募集単位別の順位 ただし，以下の（1）又は（2）に該当する者は，開示の対象となりません。 （1）大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の不足等による出願無資格者 （2）2段階選抜を実施し，第1段階選抜において不合格となった者
②	広島大学光り輝き入試 総合型選抜（※③を除く） 学校推薦型選抜	第1次選考：総合評価としての段階評価（＊） 選考，第2次選考，最終選考：総合評価としての段階評価（＊） ＊段階評価の内容は，各学生募集要項を参照してください。
③	広島大学光り輝き入試 総合型選抜外国人留学生型 2月実施（IGS国内選抜型を除く）及び3月実施	個別テスト等の科目別の得点及び合計点 個別テスト等の科目別の評価（段階評価を含む） ただし，2段階選抜を実施し，第1段階選抜において不合格となった者は，開示の対象となりません。

＜問合せ先＞
高大接続・入学センター　　〒739-8511　東広島市鏡山一丁目3番2号　　phone：082-424-2993
（注）試験成績の開示に関する問合せ先は，高大接続・入学センターに限ります。
受験した学部では，問合せに対応していません。

学生生活のサポート

経済支援について

学生が経済事情に関わらず，安心して修学することができるよう，さまざまな経済支援制度を整備しています。
詳細は，各制度のホームページを参照してください。

（1） 高等教育の修学支援新制度（【入学料・授業料減免】＋【日本学生支援機構 給付奨学金】のセット）
令和 7 年度からの多子世帯への授業料等無償化についても，本制度により実施されます。
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/post_65.html

（2） 広島大学フェニックス奨学制度
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/phoenix.html

（3） 広島大学光り輝く奨学制度
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/hikarikagayaku.html

（4） 広島大学未来応援 HIZUKI 奨学制度
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/hizuki.html

（5） 日本学生支援機構 貸与奨学金
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/post_130.html

（6） 各種奨学団体（地方公共団体・民間奨学団体）の奨学金
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/post_134.html

＜経済支援に関する本学ホームページ＞
広島大学学生情報の森もみじ → 学生生活のサポート → 経済支援
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/financial.html

＜問合せ先＞
広島大学教育室教育部学生生活支援グループ（経済支援）
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目 7 番 1 号（学生プラザ 3 階）
e-mail: gkeizai-group@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学フェニックス奨学制度

広島大学では，広島大学基金を基に，学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学が困難な学生を支援する独自の奨学制度の一つとして「フェニックス奨学制度」を設けています。

※本奨学制度は，本学入学前に申請するものです。

支援内容

入学料 全額免除 ＋ 在学中の授業料 全額免除 ＋ 月額10万円の 奨学金給付

- 在学期間中は，大学が定める成績基準を満たす必要があります。満たさない場合，奨学生の資格を失います。
- 本学の大学院または専攻科に進学した場合は再度審査を行い，基準を満たす場合，奨学生として支援を継続します。
- 高等教育の修学支援新制度（以下，新制度といいます）に原則お申込みいただきます。
  新制度に採用された場合，入学料・授業料については，新制度による免除額を差し引いた額を大学が免除します。
  給付奨学金については，月額10万円から新制度による支給月額を差し引いた額を大学から支給します。

対象・採用人数

学力が優秀でありながら経済的理由により進学が困難な方で，次のいずれかの入試の志願者のうち，以下「選考基準」の2つの基準を満たす学部新入生15人程度

- 広島大学光り輝き入試 総合型選抜II型
- 広島大学光り輝き入試 学校推薦型選抜II型（医学部医学科（ふるさと枠）を除く）
- 一般選抜（前期日程・後期日程）

申請方法

詳細は，末尾に記載のHPをご参照ください。（12月中旬頃，HP更新予定）

【STEP1】申請書類の準備（12月中旬頃～）

【STEP2】申請書類の提出

・光り輝き入試志願者…1月下旬〆（予定）
・一般選抜志願者……2月上旬〆（予定）

申請には，源泉徴収票や確定申告書など年収を証明する書類等が必要ですので，お早めにご準備ください。

選考基準

【学力の基準】

大学入学共通テストの得点が，原則として志願する学部・学科等の同テスト配点合計の**80%以上**であること

【経済的困窮度の基準】

令和8年1月～12月の総収入金額を対象とし，世帯員全員の年収・所得の合計金額から，家族構成や家庭事情等に応じて定める特別控除額を差し引いた金額が，本学で定めた収入基準額以下であること

（収入・所得の上限の目安）

収入の種類	給与所得（年金を含む）（年収）※源泉徴収票の支払金額		給与所得以外（年収）※確定申告書の所得金額（税込）	
通学形態	自宅	自宅外	自宅	自宅外
世帯人数3人	202万円	265万円	80万円	124万円
世帯人数4人	261万円	324万円	121万円	165万円
世帯人数5人	425万円	488万円	236万円	280万円

<お問合せ先> 広島大学 教育室教育部 学生生活支援グループ（フェニックス奨学制度担当）
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号　TEL 082-424-6167

<HP> 広島大学 学生情報の森もみじ → 学生生活のサポート → 奨学金・奨学制度
→ 広島大学フェニックス奨学制度
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/phoenix.html

広島大学光り輝く奨学制度

広島大学では，広島大学基金を基に，人物及び学力が優秀でありながら経済的に困窮している学生を支援する独自の奨学制度の一つとして「光り輝く奨学制度」を設けています。

※本奨学制度は，本学学部2年次に申請するものです。

支援内容

在学中（3年次以降）の授業料全額免除 ＋ 月額10万円の奨学金給付

- 在学期間中は，大学が定める成績基準を満たす必要があります。満たさない場合，奨学生の資格を失います。
- 本学の大学院または専攻科に進学した場合は再度審査を行い，基準を満たす場合，奨学生として支援を継続します。なお，大学院または専攻科の入学料も全額免除されます。
- 高等教育の修学支援新制度（以下，新制度といいます）に原則お申込みいただきます。
  新制度に採用された場合，授業料については，新制度による免除額を差し引いた額を大学が免除します。
  給付奨学金については，月額10万円から新制度による支給月額を差し引いた額を大学から支給します。

対象・採用人数

申請時学部2年次生（令和7年度入学生）で，人物及び学力が優秀でありながら経済的に困窮しており，以下「選考基準」の3つの基準を満たす者の中から若干名

（ただし，広島大学光り輝き入試 学校推薦型選抜II型 医学部医学科（ふるさと枠）で入学した者を除く）

申請方法

詳細は，末尾に記載のHPをご参照ください。
（12月中旬頃，HP更新予定）

申請期間は，1月を予定しています。
申請には，源泉徴収票や確定申告書など年収を証明する書類等が必要ですので，お早めにご準備ください。

選考基準

【学力の基準】
所属学部の標準修得単位数を修得し，1年次から2年次前期までの通算GPAが80以上であること

【人物評価の基準】
入学時から出願時までの間に広島大学学生懲戒規則により懲戒処分を受けていないこと

【経済的困窮度の基準】
令和8年1月～12月の総収入金額を対象とし，世帯員全員の年収・所得の合計金額から，家族構成や家庭事情等に応じて定める特別控除額を差し引いた金額が，本学で定めた収入基準額以下であること

（収入・所得の上限の目安）

収入の種類	給与所得（年金を含む）（年収）※源泉徴収票の支払金額		給与所得以外（年収）※確定申告書の所得金額（税込）	
通学形態	自宅	自宅外	自宅	自宅外
世帯人数3人	202万円	265万円	80万円	124万円
世帯人数4人	261万円	324万円	121万円	165万円
世帯人数5人	425万円	488万円	236万円	280万円

<お問合せ先> 広島大学 教育室教育部 学生生活支援グループ（光り輝く奨学制度担当）
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号　TEL 082-424-6162，6167

<HP> 広島大学 学生情報の森もみじ → 学生生活のサポート → 奨学金・奨学制度
→ 広島大学光り輝く奨学制度
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/hikarikagayaku.html

※令和９年度以降の入学者は「対象」が変更となる可能性があります。詳細は，12 月上旬に公開予定の募集要項をご確認ください。

広島大学未来応援HIZUKI奨学制度

広島大学では，本学のご卒業で匿名の方の寄付を原資として，「未来応援HIZUKI奨学制度」を設けています。

本制度は，広島県内の児童養護施設，児童心理治療施設，児童自立支援施設，自立援助ホーム，ファミリーホーム又は里親家庭の出身者で，明確な目的意識をもって本学で学ぶ意欲がありながら大学進学が経済的に困難な状況にある者の進学を後押しし，入学後には安心して勉学に専念できるように支援することを目的としています。

※本奨学制度は，本学入学前に申請するものです。

支援内容

修学準備金 30万円（入学時に給付） ＋ 月額3万円の奨学金給付（ただし，6月は3.5万円，12月は4万円） ＋ 池の上学生宿舎（東広島市）の寄宿料・共通経費の免除

- 大学が定める成績基準を満たさない場合や処分により停学となった場合は，奨学生の資格を失います。
- 奨学金は，在学中（標準修業年限終了まで）に給付されます。
- 広島大学池の上学生宿舎（東広島市）に入居する場合は，寄宿料及び共通経費が免除されます。
- 高等教育の修学支援新制度やその他各種奨学金との併願・併給も可能です。

対象

以下の要件をすべて満たす者

- 申請時点において，広島県内の児童養護施設，児童心理治療施設，児童自立支援施設，自立援助ホーム，ファミリーホーム又は里親家庭のいずれかで生活する高校3年生であること。
- 明確な目的意識をもって広島大学で学ぶ意欲があること。
- 経済的に困窮していること。
- 児童養護施設等の長（ファミリーホーム及び里親家庭にあっては養育者）の推薦を受けること。

申請方法

詳細は，末尾に記載のHPをご参照ください。
（12月上旬頃，HP更新予定）

【STEP1】申請書類の準備
（12月上旬～）

【STEP2】申請書類の提出
（1月下旬～（予定））

選考方法・採用人数

本制度に申請された方のうち，本学入学試験に合格し，申請書類から以下2つの基準を満たしたことが確認できた方の中から3人を奨学生として選考します。入学者選抜で得られた学業成績の結果を考慮する場合があります。

（1）主体性を持ち，積極的に学ぶ姿勢を持っていること
（2）強い向上心，チャレンジ精神をもって勉学に励むこと

なお，本制度に申請し，上記（1）・（2）の基準を満たしながら奨学生に採用されなかった者が広島大学池の上学生宿舎（東広島市）に入居する場合は，その寄宿料及び共通経費を免除します。

<お問合せ先> 広島大学 教育室教育部 学生生活支援グループ（未来応援HIZUKI奨学制度担当）
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号　TEL 082-424-6167

<HP> 広島大学 学生情報の森もみじ → 学生生活のサポート → 奨学金・奨学制度
→ 広島大学未来応援HIZUKI奨学制度
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/hizuki.html

学生宿舎及び住居について

(1) 法学部(昼間・夜間主コース)及び経済学部(夜間主コース),並びに医学部,歯学部及び薬学部の教育環境について

法学部(昼間・夜間主コース)及び経済学部(夜間主コース)の学生は,主に東千田キャンパス(広島市)で学び(※1),医学部,歯学部及び薬学部の学生は,主に霞キャンパス(広島市)で学んでいます(※2)。そのため,1年次から広島市内に生活基盤を置き,卒業までの勉学に取り組めます。

(※1)法学部(昼間コース)の学生は,一部の授業を東広島キャンパス(東広島市)や霞キャンパス(広島市)で受講します。
(※2)医学部,歯学部及び薬学部の学生は,一部の授業を東広島キャンパス(東広島市)で受講します。

(2) 池の上学生宿舎(東広島キャンパス)について

① 所在地等

〒739-0046 東広島市鏡山二丁目812番地の62

② 応募資格

令和9年4月入学の学部生(編入学生を含む),大学院生のうち,もっとも経済的な通常の経路・方法によりその通学時間が片道概ね2時間を超え,かつ,経済的に困窮していると認められる者

※ 総合科学部国際共創学科の志願者で入居希望の方は応募方法が異なります。
入学試験出願後に別途支援室からご連絡します。

③ 募集人員等

宿舎区分	男子学生宿舎(Aタイプ)	男子学生宿舎(Bタイプ)	学生宿舎新館(Cタイプ)	女子学生宿舎(Dタイプ)
入居定員	158名	55名	49名	105名
募集人員	約120名	約30名	男子のみ約20名	約70名
寄宿料(月額)	7,500円	4,700円	15,000円	4,700円
共通経費(月額)	1,900円	2,000円	1,200円	2,000円
設備	・Aタイプ:	(個室)ベッド(棚付)・机・椅子・エアコン・ミニキッチン等 (各階共用)洗濯室・浴室・トイレ・談話室(2・4階)		
	・B・Dタイプ:	(個室)ベッド・机・椅子・エアコン・書籍棚・洗面・トイレ等 (各階共用)洗濯室・浴室・談話室・補食室		
	・Cタイプ:	(個室)ベッド・机・椅子・エアコン・ミニキッチン・洗面・風呂・トイレ3点ユニット (各階共用)洗濯室		

入居許可期間は,令和9年4月1日から令和11年3月24日までです。
光熱水料及び洗濯室使用料が別途発生します(合計月額約10,000円)。
交換留学生受入れのため,原則として,休業期間中の一定期間で居室を空けていただきます。(注)

募集人員等の内容は,令和8年7月時点での予定です。本要項発表後に変更となる場合がありますので,内容は入居者募集要項でご確認ください。

また,入居者自身で生活ごみを正しく分別し搬出をしていただくことと,共用箇所(廊下,階段,浴室,トイレ等)の美化維持に協力をしていただくことをご了承の上で入居をお願いします。

(注)
ア 休業期間中の一定期間とは,夏季休業・冬季休業及び学年末・春季休業の開始後と終了前の1週間程度を除いた期間のことをいいます。
イ 居室を空けた期間の寄宿料等の額は,日割り計算を行い減額します。
ウ 居室を空けることについて,年に数回意向調査を行います。
エ 交換留学生の受入れ状況と宿舎の空室割合によっては,居室を空けていただく必要がない場合もあります。

④ 入居者募集要項の請求方法等

入居者募集要項は，広島大学池の上学生宿舎ホームページよりダウンロードしてください。

（令和 8 年 12 月下旬掲載予定）

広島大学 池の上学生宿舎 ホームページ	https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo/gakuseisyukusya/

インターネットの環境がない方は，**郵便番号・住所・氏名を明記し，180 円分（郵送料金の改定が行われた場合には，改定後の料金分）の切手を貼付した返信用封筒（角形 2 号，横 24 ㎝×縦 33.2 ㎝）を送付し請求してください。封筒の表に「令和 9 年 4 月入学用　池の上学生宿舎入居者募集要項の請求」と朱書**してください。

＜入居者募集要項請求先及び選考書類提出先＞	
広島大学教育室教育部 学生生活支援グループ（学生宿舎担当）	〒739-8514　東広島市鏡山一丁目 7 番 1 号 phone：　082-424-5794

⑤ 選考書類の提出期間及び選考結果について

ア **選考書類提出期間は，令和 9 年 1 月 25 日から 2 月 3 日午後 5 時まで（必着）です。**

イ 選考結果について，前期日程は 3 月 10 日，後期日程は 3 月 20 日に本学ホームページにてお知らせします。

広島大学光り輝き入試合格者の選考結果については，前期日程と同様 3 月 10 日に本学ホームページにてお知らせします。

（3） アパート等について

① 東広島市内の概要等

東広島市内には広島大学指定下宿（アパート・マンション等）が約 8，000 室あります。東広島市では，1K もしくは 1DK タイプがほとんどで，6 畳から 10 畳・台所・バス・トイレ・エアコン（一部を除く）付きで，家賃は 25，000 円～55，000 円程度です。

② 広島市内の概要等

広島市内では，1K もしくは 1DK タイプのアパート等なら，6 畳から 8 畳・台所・バス・トイレ・エアコン（一部を除く）付きで，家賃は 30，000 円～80，000 円程度です。

キャンパス内全面禁煙について

広島大学は，令和 2 年 1 月からキャンパス内全面禁煙になっています。

ノートパソコンの必携化についてのご案内

広島大学では，「大学教育入門」等の講義やレポート作成，論文作成，オンラインでの授業等，多くの場面でパソコンを使用するため，ノートパソコンの必携化を実施しています。

履修登録や成績確認などの各種手続，教員や事務室からの連絡の確認なども，学生向け情報ポータルサイト「学生情報の森もみじ」(https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/)からログインして行う等，学生生活全般においてパソコンが必要となりますので，ご準備をお願いします。

(参考)

以下の Web サイトで，令和 8 年度のノートパソコン必要条件をご確認いただけます。
令和 9 年度の詳細については，12 月頃に以下の Web サイトで公表予定です。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/jyoho_ka/hikkei_pc

・必要条件は毎年見直しを行います。
・学部・学科等によって OS 等を指定される場合があります。
・条件を満たすノートパソコンを既にお持ちの場合は，新たに購入される必要はありません。

［重要］経済的事情によりノートパソコンを用意することが困難な方へ

経済的事情によりノートパソコンを用意することが困難な学生のうち，**本学が定める条件**を満たす希望者には本学からノートパソコンを1年間無料で貸与します。**本学が定める条件**については，合格者が閲覧できる入学生の手引をご確認ください。希望者は，入学手続時に申請していただきます。

＜問合せ先＞	
広島大学財務・総務室情報部 情報化推進グループ	phone： 082-424-6054 受付時間　午前 9 時から午後 5 時まで(土日・祝日を除く) e-mail： st-pc@ml.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

大学の理念

平和を希求する精神
新たなる知の創造
豊かな人間性を培う教育
地域社会・国際社会との共存
絶えざる自己変革

学部等照会先

学部名等	phone	住所	
総合科学部	082-424-6303	〒739-8521	東広島市鏡山一丁目７番１号
文学部	082-424-6613	〒739-8522	東広島市鏡山一丁目２番３号
教育学部	082-424-6725	〒739-8524	東広島市鏡山一丁目１番１号
法学部（昼間コース）	082-542-7057	〒730-0053	広島市中区東千田町一丁目１番 89 号
法学部（夜間主コース）	082-542-6998		
経済学部（昼間コース）	082-424-7217	〒739-8525	東広島市鏡山一丁目２番１号
経済学部（夜間主コース）	082-542-6961	〒730-0053	広島市中区東千田町一丁目１番 89 号
理学部	082-424-7320	〒739-8526	東広島市鏡山一丁目３番１号
医学部	082-257-5049	〒734-8553	広島市南区霞一丁目２番３号
歯学部	082-257-5613		
薬学部	082-257-5777		
工学部	082-424-7524	〒739-8527	東広島市鏡山一丁目４番１号
生物生産学部	082-424-7915	〒739-8528	東広島市鏡山一丁目４番４号
情報科学部	082-424-7611	〒739-8527	東広島市鏡山一丁目４番１号
高大接続・入学センター（※）	082-424-2993	〒739-8511	東広島市鏡山一丁目３番２号

（※）高大接続・入学センターe-mail アドレス：nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp

受付時間　午前 9 時から午後 5 時まで
（ただし，法学部夜間主コース・経済学部夜間主コースについて，授業期間は午後 1 時から午後 8 時まで，休業期間は午前 9 時から午後 5 時まで）
土日祝日，夏季休業日（8 月 12 日～8 月 14 日）及び年末年始の休日（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く
※夏季休業日は各学部等で異なることがあります。

インターネット出願及びUCARO の操作方法等に関する問合せ先

インターネット出願・UCARO ヘルプデスク（日本語対応のみ）
受付時間：【4 月から 8 月】
午前 10 時から午後 1 時まで，午後 2 時から午後 6 時まで
（土・日・祝日を除く）
【9 月から 3 月】
午前 10 時から午後 6 時まで
（年末年始の休日（12 月 30 日～1 月 3 日）を除く）
phone：03-6634-6494
※日本国外及び IP 電話からもご利用いただけます。

入試情報

医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」に関する入試情報は、広島大学のホームページをご覧ください

https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/

ふるさと枠の受験を検討している方を対象としたセミナーを実施します!

広島大学医学部および広島県は、県内の地域医療およびふるさと枠制度について
理解を深めることができる「広島県地域医療セミナー」を開催しています。
セミナーの受講がふるさと枠入試の出願要件となりました。
ふるさと枠の受験を検討している方はぜひご参加いただくようお願いいたします。

今年度の開催日　2026年 6月27日（土）、9月26日（土）、10月24日（土）
【第二次申込締め切り】9月26日（土）

詳細は以下のサイトをご覧ください。
https://cbms.hiroshima-u.ac.jp/index.html

広島大学

入試に関するお問い合わせ

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3
担当：広島大学霞地区運営支援部学生支援グループ（医学部担当）
電話：082-257-5049

その他ふるさと枠全般に関するお問い合わせ

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3
担当：広島大学大学院医系科学研究科地域医療システム学講座
電話：082-257-5894
http://cbms.hiroshima-u.ac.jp/index.html

広島大学地域医療システム学講座　検索

広島県
Hiroshima Prefecture

奨学金制度に関するお問い合わせ

〒730-8511 広島市中区基町10-52
担当：広島県健康福祉局医療政策課
電話：082-513-3062

広島県医師育成奨学金　検索

ふるさとの医療を担う!

2027年度 広島大学医学部医学科

ふるさと枠のご案内



広島大学　広島県
Hiroshima Prefecture















Table of Contents

02 広島大学長メッセージ
医学部長メッセージ

03 広島大学医学部医学科ふるさと枠とは？
ふるさと枠募集事項（概要）／入学から卒業後の進路

04 「広島県医師育成奨学金」について（概要）

05 ４年間勤務する中山間地域指定医療機関マップ

06 中山間地域指定医療機関とふるさと枠勤務状況
中山間地域以外の医療機関

07 一般枠とは違う「ふるさと枠」独特の取り組み　Part Ⅰ
ふるさとセミナー（略称：ふるセミ）／夏実習／冬合宿／春実習

09 一般枠とは違う「ふるさと枠」独特の取り組み　Part Ⅱ
知事激励会／新入生歓迎イベント／同窓会・卒業生面談
面談／進路説明会／卒業生送別会／講座教授からのメッセージ

11 ふるさと枠　現役学生座談会
「ふるさと枠のメンバーは「広島の地域医療を支えたい」という同じ夢をもっていた」

13 広島県内各地で活躍中のふるさと枠医師からのメッセージ
「地域で学び、地域で生きる医師を目指しませんか？」
庄原赤十字病院　國原 蒼士 先生（８期生２０２２年卒）
「現地医療機関からの声」
庄原赤十字病院 院長　鎌田 耕治 先生

15 広島県内各地で活躍中のふるさと枠医師からのメッセージ
「医師としての自分の将来像を具体的に描きやすいふるさと枠」
安佐市民病院　神原 貴大先生（２期生２０１６年卒）
「医師不足による診療科の休止や医療機関の閉鎖は常に身近な問題だった」
市立三次中央病院　今岡 亜理紗先生（４期生２０１８年卒）
「治療だけでなく、より患者さんの生活に近い部分のサポートも必要に」
厚生労働省老健局　松岡 美咲先生（４期生２０１８年卒）
「ふるさと枠でできた、年代や科を超えた繋がりがプラスに」
市立三次中央病院　西本 祐美先生（６期生２０２０年卒）

17 広島県キャリア形成プログラム
広島県知事メッセージ／「広島県キャリア形成プログラム」とは
キャリアプランの概要

18 FQA

【写真協力・提供】庄原観光ナビ



広島大学長メッセージ

地域医療を担う医師の育成について



広島大学長　越智　光夫

今日、わが国における急速な少子高齢化の進行や大都市圏への人口集中は、地方の活力低下を招いています。広島県も人口の県外流出などが顕著になっていますが、特に中山間地域において医療を担う医師や、県内の特定の診療科医師の不足が大変深刻な状況にあります。厚生労働省による令和4年度の無医地区等調査においても、広島県は依然として全国で2番目に無医地区数が多い県となっております。

こうした中、広島大学は、県内唯一の医師養成機関として、平成21年から広島県と連携し、県内に優秀な医療人材を輩出するための「ふるさと枠入試」を設けています。これまで302人が入学し、そのうち191人が巣立っており、現在、県内の公的医療機関等で研修や実地臨床に励んでいます。

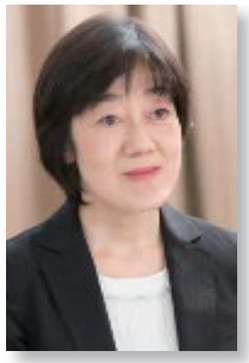
ふるさと枠で入学した学生には、通常の医学教育カリキュラムに加え、毎週1回開かれるふるさとセミナー、夏や春の地域医療実習、冬の合宿など多くの行事があります。これらを通じて先輩や後輩らと世代を超えた強い絆が育まれ、心身ともに大きな成長が期待でき、より充実したキャンパスライフを過ごすことができます。

このふるさと枠では先進的な医療にも取り組めます。「総合医」や「専門医」になるのも基本的には自由です。広島の医療に強い関心を持ち、広島県内で医療人として活躍したい、医療を通じて地域社会に貢献したいという熱い志を持つ方を広島大学は全力で応援します。

どうぞ奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

医学部長メッセージ

地域医療を志す皆さんへ



広島大学医学部長　中野　由紀子

地域医療の充実は、これからの日本の医療にとって大変重要な課題です。特に中山間地域や離島を含む広い地域を抱える広島県においては、地域の医療を支える医師の育成が強く求められています。

広島大学医学部では、広島県と連携し、「ふるさと枠」制度を通じて地域医療を担う医師の育成に取り組んでいます。ふるさと枠の学生には、医学の基礎から臨床までしっかりと学ぶとともに、地域医療の現場に触れるさまざまな教育の機会を用意しています。研修病院も豊富であり、それぞれのキャリアプランにあわせた多様な選択が可能です。

これまでに多くのふるさと枠の卒業生が県内各地で医療に携わり、令和8年度は、広島大学医学部ふるさと枠を卒業し初期臨床研修を終了した若手医師139名が県内各地の医療機関に着任し、地域の人々の健康を支えています。

広島大学のふるさと枠には、医学の学びだけでなく、人や地域と向き合う医療に関心を持つ学生が集まっています。地域医療を支えたいという思いを持つ皆さんが、この制度を通じて大きく成長し、将来それぞれの道で活躍されることを心から期待しています。

広島大学医学部医学科ふるさと枠とは？

一番必要とされている医師を育てる制度です



【写真説明】
中山間地域指定医療機関のひとつである府中北市民病院での夏実習の模様。学部生として中山間地域医療の最前線を見学する機会は極めて重要

広島県内には医師不足のため満足に医療を受けることができない地域がたくさんあります。広島大学医学部ふるさと枠はそのような地域の医療を守るため、広島大学と広島県が協力し運営している医師養成制度です。広島県内の高等学校からの推薦により入学者選抜を行い、広島大学医学部在学中の６年間は広島県から奨学金が貸与されます。医師免許取得後は９年間、広島県内の公的医療機関に勤務し、そのうち４年間は医師不足が顕著な中山間地域の公的医療機関、あるいは知事の指定する診療科に従事することが義務となっています。この義務を完遂することで奨学金の返還が免除されます。

ふるさと枠入学者は通常の医学教育カリキュラムに加えて、毎週1回のセミナー、夏期休暇中の地域医療現地実習、冬の合宿学習会、春の現地実習など多くの行事に参加します。これにより広島県の地域医療の魅力や課題を深く理解するとともに、学生同士の縦横の絆を深めます。卒業後は広島県民、特に医療に恵まれない中山間地住民の命と健康を守る重要な役割を担います。

ふるさと枠募集要項（抜粋）

◆ 募集人員

医学部医学科　１８名　（令和8年度実績）

◆ 出願資格

（1）広島県内の高等学校又は中等教育学校を入学者選抜実施前年度（本学を受験する前年度）の4月1日以降に卒業した者及び入学者選抜実施年度（本学を受験する年度）の3月31日までに卒業見込みの者で、高等学校又は中等教育学校の長が「(本学が指定する）推薦要件」について責任を持って推薦でき、合格した場合に入学を確約できる者

（2）本学卒業後は、「広島大学ふるさと枠卒業医師に対するキャリア形成プログラム」に沿って医師業務に従事し、広島県内の地域医療に貢献する意思のある者

（3）入学者選抜実施年度（本学を受験する年度）の4月1日以降に開催された広島県地域医療セミナー（広島大学医学部・広島県主催）を修了した者

◆ 出願書類（全員提出が必要な書類等）

写真、調査書、志望理由書、推薦書、誓約書、広島県地域医療セミナー受講証明書（入学者選抜実施年度《本学を受験する年度》に開催されたものに限る）

◆ 入学者選抜方法

出願書類、面接、大学入学共通テストの得点を総合的に評価して合格者を決定

その他の項目は、11月下旬に HP で公表予定
https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/yoko_doga/yoko#anchor17

広島県地域医療セミナー【修了必須】

中山間地域で医師として働く意味を一緒に考えてみませんか?

ふるさと枠に出願を検討している受験生、保護者の方はぜひご参加いただき、趣旨に賛同される方に受験して頂きたい制度です。

入学から卒業後の進路

ふるさと枠制度
１５年間

１～６年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	７年	８年	９年
広島大学在学期間	卒　業　後								
医学部医学科 ふるさと枠入学に関する情報は広島大学医学部の教育に関わる関係者に共有されます。	初期臨床研修 （２年間） 【県内指定機関】	県内の公的医療機関等（７年間）【義務期間内】 うち、４年間は知事の指定する中山間地病院又は知事が指定する診療科（病理診断科・産婦人科） ※対象となる医療機関の詳細は「推薦入試学生募集要項」に紹介							
	義務年限９年 卒業後１２年間の猶予期間の中で、９年間の義務に従事することになります。 初期臨床研修終了後、希望により３年間まで県外での専門研修、留学、学術研究等を行う事が出来ます。【義務期間外】								

広島県
Hiroshima Prefecture

「広島県医師育成奨学金」について（概要）

（広島県健康福祉局医療政策課）

- **広島大学医学部ふるさと枠へ入学された方は、大学在学中の６年間に、広島県から「広島県医師育成奨学金」の貸与を受けることとなります。**
- **大学卒業後から一定の期間、県内の地域医療を守るための指定医療機関での勤務を行っていただくことで、奨学金の返還は全額免除となります。**
- **県内での勤務は、「広島県キャリア形成プログラム」に沿って行っていただきます。（17頁参照）**

◆貸付額◆　月額２０万円（６年間の総額：1,440万円）

※奨学金の貸付けには、貸付日の翌日から、貸付期間の終了月の末日（６学年の3月末日）までの日数に応じて、民法で規定する法定利率で計算した利息が付きます。（R8.4月現在の法定利率：年3%）

◆貸与期間◆　６年間（大学の通常の修業年限（通算6年間）を超えることはできません）

◆返還免除◆　大学医学部の卒業後から１２年間（貸付期間の２倍に相当する「返還猶予期間」）までに、別に定める基準（キャリアプラン）に沿って、次の要件１・２を共に満たすことで、奨学金(利息を含む。)の返還が、全額免除されます。

【要件１】
貸付期間の1.5倍に相当する9年間（必要従事期間）を、知事が指定する広島県内の公的医療機関等※1において医師の業務に従事する。

【要件２】
上記９年間（必要従事期間）のうち、４年間（広島大学病院等県内での初期臨床研修2年間を除く）を、次の①・②のいずれかで従事する。
①知事が指定する県内の中山間地域等の公的医療機関※2
②公的医療機関等の知事が指定する診療科（病理診断科・産婦人科※3）

※1、※2、※3については、今後、規則改正等により変更となる場合があります。

≪上記の要件を整理すると、次のとおりです。≫
◎貸付期間：6年間
◎返還猶予期間（免除要件の履行期限）：卒業後12年間
◎必要従事期間（9年間）：県内初期臨床研修（2年）＋県内公的医療機関（7年、うち①又は②が4年）

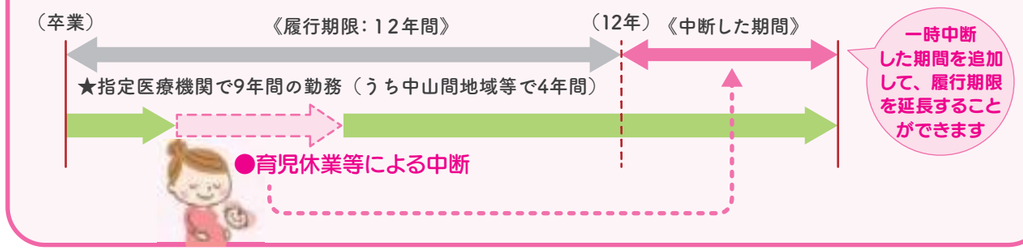
卒年後	-	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
勤務等	(6学年)	初期臨床研修 (2年) 【県内指定機関】		3～12年目の10年間で、7年間を県内公的医療機関等で勤務、 そのうち4年間は、中山間地域等の指定機関（又は指定診療科）で勤務 （任意の3年間を使って、県外研修や留学などの機会を得ることが可能）									

※卒業後の県内勤務は、「広島県キャリア形成プログラム」に沿って行います。

◆その他◆

出産・育児等による勤務中断の取扱い

出産・育児（又は家族介護）を理由として、指定医療機関での勤務を一時中断（休業・離職等）した場合は、本人の希望に応じて、当該中断等した期間を返還猶予期間に追加（猶予を延長）することができます。



4年間勤務する中山間地域指定医療機関マップ

※県内の公立診療所も広島県知事の指定する医療機関に含まれます。

中堅病院
中小病院



庄原赤十字病院

西城市民病院

市立三次中央病院

JA吉田総合病院

安芸太田病院

公立下蒲刈病院

公立みつぎ総合病院

中山間地域指定医療機関とふるさと枠医師勤務状況（卒後3年目以上）

※臨床研修は広島県内の公的臨床研修病院で行います。
※卒後3年目以降は広島大学各診療科への入局を原則とします。
※中山間地の４年間は総合医を原則としますが、医療機関からの要望があれば専門科医として勤務します。

令和8（2026）年度

診療科名等	中山間地域指定医療機関												中山間地域以外の医療機関	計
	中堅病院				中小病院						公立公的診療所	小計		
	公立みつぎ総合病院	市立三次中央病院	庄原赤十字病院	JA吉田総合病院	公立下蒲刈病院	府中北市民病院	府中市湯が丘病院	安芸太田病院	公立世羅中央病院	三次地区医療センター	因島医師会病院				
総合内科・総合診療科			2			1							3	3	6
消化器内科		2	2					1		1		1	7	9	16
呼吸器内科		1							1				2	2	4
内分泌・糖尿病内科		2						1					3	1	4
腎臓内科		1	1								1		3	2	5
脳神経内科	1				1			1	2				5	2	7
循環器内科		1	3							1			5	5	10
リウマチ・膠原病科		1											1	1	2
血液・腫瘍内科		1											1		1
皮膚科		2		1									3	1	4
精神科				1			1						2	3	5
外科		1											1	1	2
消化器・移植外科									1				1	1	2
腫瘍外科		1							1				2		2
外科（外科専攻医）														3	3
整形外科		1		1					1				3		3
形成外科														3	3
腎泌尿器科		1							1				2	2	4
脳神経外科		1											1	2	3
放射線治療科														1	1
麻酔科		2							2				4	1	5
救急集中治療科		2						1					3	6	9
リハビリテーション科	2								1	1			4	5	9
眼科														1	1
その他														2	2
小計	3	20	8	3	1	1	1	4	10	3	1	1	56	57	113
産科婦人科(知事指定)		4											4	10	14
病理診断科(知事指定)															
小児科（知事指定）		2											2	10	12
計	3	26	8	3	1	1	1	4	10	3	1	1	62	77	139
(参考)令和7年度(R7.4.1時点)	3	24	5	5				5	11	2		1	56	74	130

上記表以外の中山間地域指定医療機関（中小病院）

府中市民病院、西城市民病院、神石高原町立病院

中山間地域以外の医療機関

広島市民病院（広島市）、広島赤十字・原爆病院（広島市）、舟入市民病院（広島市）、広島大学病院（広島市）、県立広島病院（広島市）、広島市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション病院（広島市）、広島市立北部医療センター安佐市民病院（広島市）、安芸市民病院（広島市）、県立二葉の里病院（広島市）、福山医療センター（福山市）、福山市民病院（福山市）、広島県立福山若草園（福山市）、中国労災病院（呉市）、呉医療センター・中国がんセンター（呉市）、済生会呉病院（呉市）、三原赤十字病院（三原市）、尾道市立市民病院（尾道市）、JA尾道総合病院（尾道市）、済生会広島病院（坂町）、広島西医療センター（大竹市）、JA広島総合病院（廿日市市）、東広島医療センター（東広島市）、賀茂精神医療センター（東広島市）、県立安芸津病院（東広島市）、広島県立総合リハビリテーションセンター医療センター（東広島市）

※赤文字は現在、「ふるさと枠」医師が勤務中の医療機関です。（2026.04現在）

ふるさとセミナー

（略称：ふるセミ）

実施時期：通年・毎週水曜日

ふるセミは毎週水曜日にふるさと枠生で企画・運営するセミナーです。医師のお話を聞いたり、地域医療について理解を深めることのできるゲームをしたり、学年を超えた「ふるさと枠」同士での交流など、ふるさと枠でしかできない体験をすることができます。



学生のコメント

昨年度は幹部学年としてふるセミの企画を考えることがあり、とても良い機会になりました。3年生企画も楽しく参加出来たのと、先生方のお話も色々と聞けて有意義なふるセミだったなと改めて思いました。（4年生）

3年生企画で学年を超えて交流したり、ふるさと枠や自治医科大学出身の先生の講演を聞いて将来の働き方を考えたりすることができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、中山間地域の診療所や病院の先生の話を伺うことができ、広島の地域医療の問題点や、それに対してどのように取り組んでいるのかを知ることができたのでよかったです。（4年生）

普段はあまり関わることのない学年の人や同級生とグループを組んで、一緒に弁当を食べながら企画を楽しんだり、地域医療についての理解を深めることができるのは、ふるさと枠ならではの魅力だと思います。（4年生）

今年から3年生企画を考える学年となりました。過去の先輩方が行ってきた企画はどれも素晴らしいもので、新しく考えるのがとても難しいですが、どうしたらみんなが楽しく交流して学習することができるかを考えることは意外にも楽しく、企画力がついたように感じます。（3年生）

夏実習



実施時期：夏季休暇中　１泊２日

3～4人のグループに分かれて中山間地の病院に赴きます。医療従事者や患者様、地域住民の方々との関わりを肌で感じることができます。また、一年生から実習に参加できるため、早い段階から将来のビジョンを明確にすることができます。



学生のコメント

実習先の先生をはじめ、医療従事者の方々との出会いがあることが魅力だと思います。また、自分で実習先を選べることができるので、県内のさまざまな病院、診療所を学生のうちに見ることができます。（4年生）

夕食会で自治医科大学出身の医師の方から、学生時代の話や医師として経験した地域特有の話を聞かせていただきました。地域で働く医師としての生活が垣間見えた楽しい時間でした。（3年生）





冬合宿



実施時期：冬季休暇中　１泊２日

全員参加で開催場所が毎年変わります。講演、交流、グループワークを通じて地域医療の理解を深めます。



学生のコメント

講演では、医師としてのリアルなお話から学生時代のお話まで多岐にわたり、自身の将来のイメージができたという学生が多くいました。（3年生）

夕食は立食形式で行われ、先生方や県の職員の方、学生同士で楽しく交流することができました。2日目は学生企画で、映画鑑賞と映画に関するグループワークを行いました。班によって意見が様々で、とても有意義でした。（2年生）





春実習



実施時期：学年末休暇　希望者のみ

1年生から4年生までの希望者が参加する病院実習です。夏実習と比べて少人数で行くため、より深い学びができ、実習内容に医療機関ごとの特色が出るのも面白いポイントです。



学生のコメント

私が伺った医療機関は総合診療科が強いと言われているところで、総合診療科の1日に密着して、朝のカンファレンスから救急外来の様子まですべて見せていただくことができました。（3年生）

先生方や患者さんとの距離が近く、どれだけ大切でやりがいがある仕事かというのを肌で感じられるのも春実習の良いところだと思います。（4年生）





一般枠とは違う「ふるさと枠」独特の取り組み　Part II

一般枠の医学生とは違い、ふるさと枠では実習や合宿のほかにも独自の取り組みがあります。

知事激励会　新入生

3月末に広島県庁で行われます。県知事をはじめ、多くの広島県関係者から激励の言葉をいただきます。

学生のコメント

緊張していた部分もありましたが、気を引き締めるきっかけにもなりました。(2年生)

自分が故郷のために活動する一員であるという実感がより深くなりました。(2年生)



【写真説明】2026年3月に行われた知事激励会

新入生歓迎イベント　毎年

知事激励会の後、新1年生～新4年生でボウリング大会を開催します。入学後は、学生企画のレクリエーションで親睦を深めます。

学生のコメント

これから6年間を共にする同級生や在校生の先輩方と交流を深めました。スーツでのボウリングは少し戸惑いもありましたが、先輩や同級生との交流のきっかけにもなりました。学校での生活のことや、勉強面のことなどを先輩に聞く新入生の姿も見られました。(2年生)

入学後の学生企画のレクリエーションは、新入生や在校生だけでなく、地域医療システム学の先生方も参加されます！普段の大学生活とは違った一面を見ることができたり、これまで話したことのなかった同級生や先輩と仲良くなるきっかけになったりと好評のイベントとなっています！(5年生)





同窓会 卒業生面談　適宜

不安や環境、進路の悩みなど、卒業後も相談でき、解決に向けてサポートできる環境を用意しています。



面談　1・4・6年生

学生が抱える大学生活での不安や、環境、進路の悩みなど、様々なことを相談できる環境を用意し、解決に向けて話を積み重ねます。



進路説明会　4・5年生

進路説明会では初期研修先の病院のことや、将来的なキャリアプランについても詳しく説明します。



卒業生送別会　全員

大学、県庁、地域医療支援センターなど関係者一同が集まって、盛大に卒業をお祝いします。

2009年の制度開始から現在まで、**191名**の卒業生を輩出しています

各学年**18名**の学生が在籍中です

2015年～2026年累積ふるさと枠医師国家試験合格率は**97.0％**です

（広島大学医学部医学科は88.4％です）

講座教授からのメッセージ

みなさんの学生生活を応援します

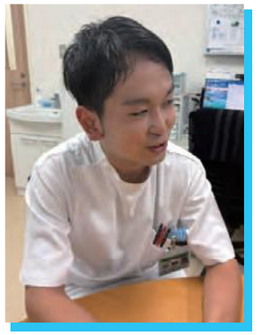
我々地域医療システム学講座の教員はふるさと枠学生の担任として、皆さんが充実した学生生活を過ごせるよう、進路に夢を持てるよう、一人一人の思いを聞きながら手厚い教育を行っています。また卒業後もキャリア支援を通じて、一人一人の卒業生と継続的に関わっております。一年生として入学してきた初々しい学生が、立派な医師となって地域住民の命を支え、無事に義務年限を修了していく姿を見ることができるのは、我々にとってこの上ない幸せです。これからふるさと枠の輪に加わってくれる、新しい仲間をお迎えすることを、教員一同大変楽しみにしております。

広島大学地域医療システム学講座教授　松本　正俊



ふるさと枠のメンバーは、「広島県の地域医療を支えたい」という同じ夢を持っている

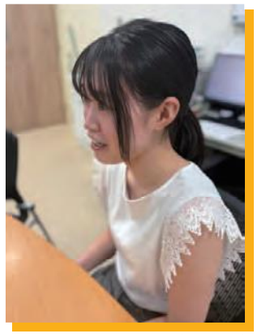
ふるさと枠では、将来中山間地域で医療に携わる姿を具体的に描けるよう、入学直後から独自のプログラムが始まります。毎週の「ふるさとセミナー（ふるセミ）」に加え、長期休暇中には夏実習や冬合宿など、地域医療を実体験できる機会が数多く設けられています。その学びと魅力について、ふるさと枠の学生さんに尋ねてみました。



沼田 義輝 さん（5年生）
広島県呉市出身



田中 恭祐 さん（3年生）
広島県呉市出身



青木 なのは さん（3年生）
広島県府中市出身

（※学年は座談会当時）

現場での挑戦と、将来像を描く時間

司会　夏実習はどうでしたか？

沼田さん　実習先ごとに経験できることが全く違うのが魅力です。総領診療所では住民を対象とした健康講座を企画しましたが、実際は段取り通りにいかないことも多くて。でも先生から「学生のうちは失敗できることが強み。次に活かせばいい」と言っていただき、前向きに捉えられるようになりました。

田中さん　僕は沼隈病院に行きました。院長先生の「地域医療こそ最先端」という言葉が印象的で、地域医療に対する見方が大きく変わりました。地域だからこそできる医療があると実感しました。

司会　冬合宿の講演も刺激的でしたね。

青木さん　ふるさと枠の先輩医師のお話を聞いて、将来像がより具体的になりました。年齢の近い先生方が地域で活躍している姿を知り、「自分もこうなりたい」と自然に思えました。

沼田さん　自ら道を切り開いてこられたキャリアの話を聞き、将来は自分次第でいくらでも広げられると感じました。







交流の中で深まる、地域とのつながり

青木さん　夏実習では外来見学や問診を体験し、患者さんともたくさんお話しました。夜の食事会では、働き方やプライベートの話まで聞けて、地域医療が生活と密接につながっていることを実感しました。

司会　冬合宿の懇親会ではどうでしたか？

青木さん　院長先生方に自分から話しかけました。学生のうちから直接お話しできる機会は本当に貴重で、「ぜひ将来うちに」と声をかけていただき、期待されていることを感じました。

沼田さん　実習でお世話になった先生が覚えていてくださり、温かく迎えていただきました。地域とのつながりが続いていくことが嬉しかったです。

田中さん　「学生生活を頑張りなさい」と励まされ、地域の一員として見てもらえていると感じました。

同じ夢を持つ仲間と歩む未来

司会　最後に、ふるさと枠を目指す受験生へ、しっかりメッセージをお願いします。

沼田さん　まず伝えたいのは、「本当に歓迎します」ということです。ふるさと枠には、先輩や先生方、地域の方々など、多くの支えがあります。皆さんが温かく見守り、成長を応援してくださいます。その期待はプレッシャーではなく、「一緒に地域を支えていこう」という前向きなエールです。医師としてだけでなく、人としても成長できる環境が整っています。

青木さん　ふるさと枠には、「広島の地域医療を支えたい」という同じ思いを持つ仲間が集まっています。目指す方向が同じだからこそ、悩みも喜びも共有でき、自然と支え合える関係が築けます。実習や講演を通して将来を具体的に描ける機会も多く、「地域医療に関わりたい」という気持ちがあれば、その思いを大切にしながら大きく育てていける環境です。不安があっても大丈夫。仲間と一緒に、一歩ずつ進んでいけます。







田中さん　僕自身、人の輪に入るのが得意なタイプではありませんでした。でも、ふるさと枠に入ってみると、同じ夢を持つ仲間が自然と声をかけてくれて、気づけばその輪の中にいました。ここには、互いを認め合い、支え合う雰囲気があります。地域医療に少しでも関心があるなら、その気持ちを信じて挑戦してほしいです。将来どんな医師になりたいのかを真剣に考えられる場所が、ここにはあります。そして、その挑戦を心から応援してくれる人たちが待っています。

広島県の地域医療を支えたい――。その共通の夢が、仲間を結び、地域とつながり、未来へと続いています。あなたが思い描く「理想の医師像」は、どんな姿でしょうか。その問いに、仲間とともに向き合える場所が、ここにはあります。

地域で学び、地域で生きる医師を目指しませんか？

「地元で医師になりたい」という思いを胸にふるさと枠を選んだ私だからこそ伝えたい。挑戦してみれば、必ず未来は開けます。



小学生の頃から「医師になりたい」

私は呉市の焼山という所で生まれ育ちました。父が医療従事者であったため小学生の頃から医師になりたいという目標を持っていました。地元愛が強かったため中学生の頃には広島大学医学部を志望するようになりました。中学・高校では吹奏楽部に所属しサックスとクラリネットを吹いていました。高校生のときにジャズの全国大会に出場し特別賞を受賞したのは良い思い出です。高校のときに先輩や先生から「ふるさと枠」という選択肢を教えてもらい、意識するようになりました。私が住んでいた焼山は呉市と熊野町の境の山の中にあり、祖父母の家も東広島の河内町という田舎であったため、中山間地の医療に関わることに違和感が無かったこともあり、最終的にふるさと枠を受験し、入学することができました。

医療現場に触れる機会が多いふるさと枠制度

広島大学での6年間はよく遊んでいました。どちらかというと講義に熱心に取り組むタイプではなかったため、科目の本試験に落ちて追試験を受けないといけない場面が多々あったのですが、「ふるさと枠の仲間」と「高校の同級生」という2大コミュニティに助けられて、なんとかストレートで卒業することができました（笑）。

一方で、ふるさと枠の活動はとても良い経験になりました。毎週の「ふるセミ」で仲間との絆を深めることができましたし、休暇中の実習では医療現場に触れる機会が多くありました。私は高校生の頃から在宅看取りで有名な北広島町雄鹿原診療所の東條環樹先生に憧れていたのですが、ふるさと枠の実習で直接お会いし、往診に同伴することもでき、感激しました。こういった活動を通して良い医師になりたいというモチベーションを高めることができました。



腎臓内科

國原 蒼士 先生

（ふるさと枠8期生　2022年卒）

呉市出身、広島学院高校卒、
2022年：広島大学卒
2022年～2024年：市立三次中央病院臨床研修、
2024年～：庄原赤十字病院腎臓内科勤務

地域の最前線、三次で研修医に

卒業後の臨床研修は三次中央病院で行いました。ふるさと枠の臨床研修は広島市など都市部で行っても問題ないのですが、私は希望して中山間地の三次中央病院を選びました。理由は地域の最前線の病院のほうが実力を磨けますし、ふるさと枠の先輩がたくさんいて教えてもらいやすい環境だと考えたからです。

研修医の数が少なかったので、たくさんの患者さんを診ることができ、希望の診療科を自由にローテーションさせてもらいました。病院の福利厚生も素晴らしかったです。三次の市街地が私の故郷の焼山よりも遥かに都会だったのが意外でした。

腎臓内科の専門医に

2年間の臨床研修後は腎臓内科を自分の専門として選びました。腎臓内科は腎臓という臓器を通して全身を診ることができ、また透析という治療を介して腎不全の患者さんの一生に寄り添うことができる魅力的な診療科です。

現在私が勤務している庄原赤十字病院の医師数は三次中央病院の半分以下で、スタッフ同士の風通しがよく、院長先生にも気軽に相談できてしまうようなアットホームな雰囲気があります。ふるさと枠を中心に若手医師や同年代のコメディカルの仲も良く、よく一緒に遊びに行っています。ただ遊べるお店は三次よりも圧倒的に少ないです（笑）。

一方で腎不全の患者さんが多く、実は透析患者数は三次中央病院よりも多いくらいです。その意味で腎臓内科医としての経験も都市部と比べて遜色なく積むことができています。

庄原には無医地区が多く、移動診療車でこれら地区の巡回診療を行っています。私も時々行くのですが、医療の無い場所で、移動診療によって辛うじて生活が成り立っている住民の方達を見ると、私のような若い医師一人であってもその役割が極めて大きいことを実感します。

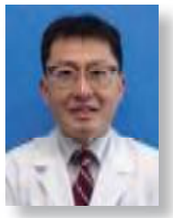
「自信を持って挑戦して」

医師はとてもやりがいのある仕事です。私は人とコミュニケーションするのが好きなタイプなので、地域医療は自分にすごく向いていると感じています。

ふるさと枠を選ぶということは、大学6年間および卒業後9年間の計15年間を決定付ける大きな決断になります。正直、私も入学後に「本当にふるさと枠で良かったのか」と悩んだことがありました。

ですが、こうして中山間地に来て、楽しく仕事できているという事実を踏まえると、この選択が自分にとって正しかったのだろうと思っています。私のようなタイプの人で、ふるさと枠の受験を考えている皆さんには「自信を持って挑戦して」と言ってあげたいです。

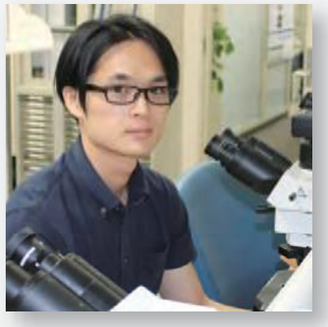
現地医療機関からの声



庄原赤十字病院 院長　**鎌田 耕治 先生**

國原先生は、専門の腎臓領域だけでなく、幅広く内科全般の診療、無医地区診療など地域に根差した医療を行っています。医療人として、また社会人としても日々確実に成長し、当地域になくてはならない存在となっています。

医師としての自分の将来像を具体的に思い描きやすい「ふるさと枠」



安佐市民病院 病理診断科

神原 貴大 先生（2期生 2016年卒）

【勤務先】県立広島病院（初期研修）→広島大学病院
→安佐市民病院（2024年度 義務終了）

ふるさと枠の学生は地域医療を主軸に、広島の医療への理解を広い視点から深める機会に恵まれています。目指すべき医師像を具体的に想定できるきっかけも多く、医師として広島で働きたいけれど、思いばかり先行して不安だ、という方にこそお勧めです。そんなふるさと枠2期生の私は、"僻地"同様人手不足な、"病理医"の道を選択しました。病理学は、患者さんの診療に直結する組織診断の他、解剖や研究も業務の一貫であり、興味の尽きない領域です。診療科はさておき、医師としてどのように広島と関わりたいか、ふるさと枠でじっくり考えてみませんか？同志として働ける日を楽しみにしています。

治療だけでなく、より患者さんの生活に近い部分のサポートも必要に



厚生労働省老健局

松岡 見咲 先生（4期生 2018年卒）

【勤務先】広島大学病院（初期研修）→広島市立リハビリテーション病院
→広島大学病院→公立みつぎ総合病院
→公立世羅中央病院→厚生労働省（義務中断中）

初期研修終了後、広島市立リハビリテーション病院、広島大学病院、公立みつぎ総合病院、公立世羅中央病院で勤務しました。

中山間地域では医療・福祉資源が限られている地域で生活している患者さんも多く、患者さんの希望を叶えるためには、病気の治療だけでなく、より患者さんの生活に近い部分のサポートも必要となります。訪問診療などで実際の生活環境を見たり、患者さんや家族さんの話を聞いたりしながら、患者さん一人ひとりに合った診療を行えるように心がけています。現在はこれまでの経験を活かし、厚生労働省で勤務しています。

医師不足による診療科の休止や医療機関の閉鎖は常に身近な問題だった



市立三次中央病院 小児科

今岡 亜理紗 先生（4期生 2018年卒）

【勤務先】広島大学病院（初期研修）→中国労災病院
→広島市立広島市民病院→広島大学病院→市立三次中央病院

私は広島県の中でも最も多くの無医地区を抱える庄原市で生まれ育ちました。大学進学を機に故郷を離れるまでの間、医師不足による診療科の休止や医療機関の閉鎖は常に身近な問題でした。

そのような中、地域医療に携わりたいという決意をもった仲間と出会うことが出来たことは、大変心強いことでした。すでに多くのふるさと枠の医師が地域で活躍する姿を見ると僻地出身者としては感謝の思いもあり、私自身もそれに続けるように日々の診療に取り組んでいきたいと思います。

ふるさと枠でできた、年代や科を超えた繋がりがプラスに



市立三次中央病院 産婦人科

西本 祐美 先生（6期生 2020年卒）

【勤務先】広島大学病院（初期研修）→広島赤十字・原爆病院（初期研修）
→JA広島総合病院→市立三次中央病院→広島大学病院
→呉医療センター・中国がんセンター→市立三次中央病院

広島大学病院・広島赤十字原爆病院で初期研修を行い、以降は産婦人科医として広島県内の様々な病院で研修をおこなっています。

医師として働いてみると、ふるさと枠出身の先生方の多さに驚かされます。どの診療科に進んだとしても、ふるさと枠でできた年代や科を超えた繋がりは医師として働いていくにあたって大きなプラスになると思います。広島のことが大好きな皆様が来てくださることを心待ちにしています。

広島県
Hiroshima Prefecture

広島県キャリア形成プログラム

広島県知事メッセージ　ふるさと枠をめざす皆さんへ



広島県知事
横田　美香

広島県では、総合計画「安心▷誇り▷挑戦　ひろしまビジョン」を策定し、「全ての県民が、質の高い医療・介護サービスを受けることができ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる広島県の実現」を目指して取組を進めています。

山間部や島嶼部等からなる中山間地域が広い本県では、地域の医療をどのように守り・支えていくかが大きな課題となっています。

そのような中、「ふるさと枠」制度によって、これまでに191名が卒業し、現在、臨床研修を修了した義務年限内の医師139名が県内各地で勤務しています。そのうち61名が中山間地域の医療現場で、また26名が医師不足の特に著しい診療科で活躍するなど、県内地域医療の現場において大きな役割を担う存在となっています。

また、本県では、広島大学に「地域医療システム学講座」を設置し、地域医療を担う医師の育成に精力的に取り組んでいます。

是非、みなさんも、高い志と熱い想いを持って「ふるさと枠」を目指していただき、本県の地域医療の活性化を担う人材として活躍されることを願っています。

「広島県キャリア形成プログラム」とは

「広島県キャリア形成プログラム」は、卒業生の能力の向上や、目指す診療科の専門医認定が得られるように、勤務先やローテート方針等を定めた標準的な育成計画です。卒業生は、必要従事期間が終了して奨学金の返還免除を受けるまでの間、このプランに沿って県内の地域医療に貢献しながら、併せて能力の向上を図ります。

キャリアプランの概要

1 ふるさと枠卒業医師の所属

卒業生は、初期臨床研修（２年間）修了時までに、次のコース（①～③）のいずれかを選択します。

選択コース		補足等
A 広島大学病院 各診療科等所属コース	① 中山間地サブコース	下記以外の診療科（２６診療科※1）（診療科毎の標準的なプランを用意）
	② 知事指定診療科サブコース	病理診断科・産婦人科（標準的なプランを用意）
B 地域専攻コース ※個別の診療科への所属を希望しない方	③ 中山間地サブコース	「広島大学地域医療システム講座」及び「広島県地域医療支援センター」がサポートして具体プランを作成

2 中山間地域等指定機関での勤務について（配置ガイドライン）

- 中山間地域等指定機関を「中堅病院」（４機関）と「中小病院」（10機関）に分類※2し、中山間地域での４年間の勤務のうち、「中小病院」には、原則２年、少なくとも1年以上は常勤として勤務します。（②知事指定診療科サブコース選択者は除く）
- 中山間地域での勤務は、総合医（総合診療医・一般内科医・一般外科医）としての勤務を原則としますが、中山間地域等指定機関から要望がある場合は、専門科医として勤務します。

①中山間地サブコースの診療科構成（※1）や、中山間地域指定機関の分類（※2）は、後年において変更となる場合があります。

【例】広島大学病院・①中山間地サブコース「総合診療科」標準的キャリアプラン

卒後年	勤務先等
１年	初期臨床研修（県内指定機関）
２年	
３年	大学病院
４年	中山間地域の中堅病院　内科・総合診療科勤務
５年	中山間地域の中小病院　内科・総合診療科勤務
６年	大学病院　社会人大学院入学（希望者） 総合診療専門医試験
７年	中山間地域の中堅病院　内科・総合診療科勤務
８年	中山間地域の中堅病院　内科・総合診療科勤務 内科専門医試験（希望者）
９年	関連病院（指定機関）　内科・総合診療科勤務
１０年	【必要従事期間終了】
１１年	
１２年	

（大学院入学年度は希望に配慮）

FAQ

Q 広島大学ふるさと枠の学生は、他の学生と違う学部教育を受けるのですか？

A 全ての授業・実習から、地域医療実習を含む臨床実習に至るまで、全く同じ内容を学習します。それとは別に、ふるさと枠学生を対象としたプログラムがあり、定期的なミーティングや休暇中のセミナーなどを実施します。ふるさと枠学生に対しては、在学中に積極的に国内外での見聞きを広め、クラスを引っ張っていく存在になれるよう、指導致します。

Q 広島大学ふるさと枠の卒業生は、自分の行きたい「科」を選ぶことが出来るのですか？

A 「広島県医師育成奨学金制度の概要」に記載してある返還免除の条件2の①には、自分が将来目指す「科」について、特に制限は書かれていません。ただし、中山間地域勤務期間は原則として総合医として勤務しますので、研修中は、原則として総合医としての修練が必要です。これらの総合医としての経験は、その後総合医としてキャリアを歩む場合はもちろん、専門医を目指す場合も本人の一生の財産となります。

Q 広島大学ふるさと枠の卒業生は、いわゆる「専門医」を目指すことは出来るのですか？

A 「広島県医師育成奨学金制度の概要」の返還免除の条件2の②に「知事が指定する診療科」という文言があります。これはまさに「専門医」に該当します。つまり県が「深刻な医師不足」と判断した科であれば、その科を選択することができ、その場合、勤務地は中山間地に限定されません（現在は病理診断科と産婦人科が指定されています）。次に「知事が指定する診療科」に行かない場合、中山間地域勤務期間は原則として総合医として勤務しますが、中山間地域勤務期間終了後、専門医を目指し始めることは問題ありません。また中山間地域勤務期間中も、広島大学の地域医療システム学講座と連絡をとりつつ、目指す専門医に関わる広島大学の診療科に所属し、将来の専門医取得に向けて準備を始めることが出来ます。ほぼすべての診療科がふるさと枠卒業生のためのキャリアプランを用意しています。

Q 9年間は、先進的な医療技術の勉強ができないのではないですか？

A そのような心配を聞きますが、大丈夫です。まず、「総合医」を目指す場合、広島大学の地域医療システム学講座・総合診療科をはじめとした全診療科・卒後臨床研修センター、県立広島病院を中心とする県内の公的医療機関等が支援し、最先端の「総合医」を育成します。次に「専門医」を目指す場合、広島大学の診療科が中心となって全面的にバックアップします。今後、情報回線を利用したテレ・メディスンも発達し、その活動を支えます。この「ふるさと枠」は、私たち納税者・県民によって支えられる制度であり、総合医であれ専門医であれ、広島で活躍する優秀な医師を輩出することを目標と考えています。

Q 予想されるコースについて実例を挙げていただけますか？

A 例えば、「初期臨床研修（県の指定医療機関）2年間」→「県内の公的病院3年間」→「県の指定する中山間地域等の公的医療機関等4年間」といったコースが実例として挙げられます。すなわち一般医学科生と大きな違いはないのです。

授業科目名	全身性疾患制御学　　(Systemic Disease Control)		
対象学年	3年生	単位	12単位
科目責任者	やまぐち　けん 山口　建	所属	産科婦人科学
科目 コーディネーター	やまざき　ともみ 山﨑　友美	所属	産科婦人科学
授業方法	各ユニットのシラバスを参照のこと。		
授業の概要	本科目は以下の9の講義ユニットで構成される。 1）産科婦人科 2）救急集中治療医学 3）小児 4）麻酔蘇生学 5）臨床腫瘍学・放射線腫瘍学 6）感染症 7）小児外科 8）地域医療 9）漢方医学 全身すべての臓器に発生する生理的変化および疾患の様々な原因について、今まで学んだ生体反応学・病態病因学等をもとにして、各種疾患の病態生理を理解し、診断及び治療法を学ぶ。		
授業の目標	各ユニットのシラバスを参照のこと。		
講義日程	別紙日程表を参照のこと。		
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）		
評価法	試験はユニットごとに行う。試験形式については各ユニットのシラバスを参照のこと。		
成績評価の基準	各ユニットの到達度について評価する。 合格することを４年次への進級要件とする。		
予習・復習への アドバイス	別に掲載する各ユニットの項を参照.		
推奨参考書	各ユニットのシラバスを参照のこと。		

講義ユニット名	地域医療	所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	まつもと　まさとし 松本　正俊	所属	地域医療システム学
講義ユニット コーディネーター	まつもと　まさとし 松本　正俊	所属	地域医療システム学
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。		
概 要	地域医療の在り方と現状および課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身につける。		
講義ユニットの 到達目標	地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 地域医療に積極的に参加・貢献する。 経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。 在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。 在宅医療の在り方、今後の必要性と課題を概説できる。 在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。 褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。 在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。 介護の定義と種類を説明できる。 日常生活動作〈ADL〉（排泄、摂食、入浴等）に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。 地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	学生証による出席システム、およびFormsのミニテストへのオンライン回答をもって出席とみなす。オンライン回答は授業終了後１時間以内に行うこと。制限時間までにオンライン回答しなかった場合も欠席と見なす。「オンライン回答が締め切りを１分過ぎた」といった申し出がよくあるが、これらは一切認めない。		
評価項目	地域医療に関する理解を確認する。		
評価法	毎回のミニテストの結果と授業態度で評価する。		
予習・復習への アドバイス	予習は不要。復習は講義資料および以下の参考書が良いと思われる。		
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 地域医療学入門　日本医学教育学会/全国地域医療教育協議会監修　岡崎仁昭/松本正俊責任編集　診断と治療社		

授業科目名	臨床実習入門プログラム　　(Introduction to Clinical Clerkship)		
対象学年	４年生	単位	４単位
科目責任者	はすぬま　なおこ 蓮沼　直子	所属	医学教育センター
科目 コーディネーター	はすぬま　なおこ 蓮沼　直子	所属	医学教育センター
授業方法	全員を対象とした講義形式および小グループ単位での実習形式を併用する。 実習では、指導者のもとで互いに診察実技を行い、繰り返し練習することで手技の修得をめざす。		
概 要	臨床実習を行うにあたっては、単に疾患についての知識をもっているのみではなく、患者さんに接する際にとるべき態度や、医療面接や身体診察を正しく行う技能も身に付けておく必要がある。本プログラムでは、診療の現場に出るにあたって必要な態度、知識、技能を総合的に得ることを目標とする。		
到達目標	診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。 網羅的に系統立てて適切な順序で効率的な身体診察を行える。異常所見を認識・記録し、適切な鑑別診断が行える。 基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。 診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POMR>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。 緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。 慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療を説明できる。医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。 患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を行える。 コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 患者に分かりやすい言葉で説明できる。 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。 患者のプライバシーに配慮できる。 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 チーム医療の意義を説明できる。 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。		

到達目標	医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。 医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる。 医療関連感染症の原因及び回避する方法（院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、院内感染対策チーム(infection control team <ICT>)、感染対策マニュアル等)を概説できる。 真摯に疑義に応じることができる。 医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。 医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。 医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 標準予防策(standard precautions)の必要性を説明し、実行できる。 患者隔離の必要な場合を説明できる。 針刺し事故（針刺切創）等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。 診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録<POMR>、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan <SOAP>)）を説明でき、実際に作成できる。 診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。 電子化された診療情報の作成ができ、管理を説明できる。 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。 副作用と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。 薬物投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 甲状腺の触診ができる。 標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。 患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。 医療従事者の体液曝露後の感染予防策を概説できる。 死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。 水・補液、栄養管理を含む人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）と小児の特殊性を説明できる。 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation <DNAR>、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。 患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。 薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。 各臓器系統（中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。 主な薬物の有害事象を概説できる。 年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。

	薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。 処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。 分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。 ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用（アンチ・ドーピング等）を説明できる。 清潔の概念と必要性を説明できる。 手洗いの意味と手技を説明できる。 ガウンテクニックの必要性と手技を説明できる。 消毒の意味と方法を説明でき、被覆材の種類と適応、効果を説明できる。 食行動、食事摂取基準、食事バランス、日本食品標準成分表、補助食品、食物繊維・プロバイオティクス・プレバイオティクスを概説できる。 栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム(nutrition support team <NST>)、疾患別の栄養療法を説明できる。 各種補液製剤（ビタミン、微量元素を含む）の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。 経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。 リハビリテーションの概念と適応（心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む）を説明できる。 リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。 福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。 障害を国際生活機能分類の心身機能・身体構造、活動、参加に分けて説明できる。 機能障害と日常生活動作(activities of daily living <ADL>)の評価ができる。 理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。 主な歩行補助具、車椅子、義肢（義手、義足）と装具を概説できる。 緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。 全人的苦痛を説明できる。
到達目標	緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。 疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。 オピオイドの適応と課題を説明できる。 緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。 病歴（主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。 診察時に患者に適切な体位（立位、座位、半座位、臥位、砕石位）を説明できる。 診察で得た所見、診断、必要な検査を上級医に説明、報告できる。 適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録<POMR>を作成できる。 診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画<SOAP>で記載できる。 症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。 プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。 患者の立場を尊重し、信頼を得ることができる。 患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。 患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。 感染を予防するため、診察前後の標準予防策(standard precautions)ができる。 身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。 患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。 身長・体重を測定し、body mass index <BMI>の算出、栄養状態を評価できる。 上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。 両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。 呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。 腋窩で体温を測定できる。 下肢の動脈の触診等、下腿の血圧測定（触診法）、大腿の血圧測定（聴診法）を実施できる。 全身の外観（体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声）を評価できる。 頭部（顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋）の診察ができる。 眼（視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜）の診察ができる。 耳（耳介、聴力）の診察ができる。 耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。 音叉を用いて聴力試験を実施できる。 口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。 鼻腔、副鼻腔の診察ができる。

到達目標	鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。 頭頸部リンパ節の診察ができる。 胸部の視診、触診、打診ができる。 呼吸音と副雑音の聴診ができる。 心音と心雑音の聴診ができる。 背部の叩打痛を確認できる。 腹部の視診、聴診ができる。 区分に応じて腹部の打診、触診ができる。 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。 腹水の有無を判断できる。 腸雑音、血管雑音の聴診ができる。 直腸（前立腺を含む）指診を実施できる（シミュレータでも可とする）。 意識レベルを判定できる。 脳神経系の診察ができる（眼底検査を含む）。 腱反射の診察ができる。 小脳機能・運動系の診察ができる。 感覚系（痛覚、温度覚、触覚、深部感覚）の診察ができる。 髄膜刺激所見（項部硬直、Kernig徴候）を確認できる。 四肢と脊柱（彎曲、疼痛）の診察ができる。 関節（可動域、腫脹、疼痛、変形）の診察ができる。 筋骨格系の診察（徒手筋力テスト）ができる。 主訴からの診断推論を組み立てられる、又はたどることができる。 疾患の病態や疫学を理解する。 治療の立案・実施に可能な範囲で参加できる。 保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加できる。 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加できる。 基本的な小児科診察ができる。 どのように小児科にコンサルテーションすればよいか説明できる。 皮膚消毒を実施できる。 静脈採血をシミュレータで実施できる。 手指衛生等の標準予防策(standard precautions)を実施できる。 12誘導心電図を記録できる。 経皮的酸素飽和度を測定できる。 無菌操作を実施できる。 手術や手技のための手洗いができる。 手術室におけるガウンテクニックができる。 緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。 一次救命処置を実施できる。 医療人類学(基本的な視点、方法、理論について理解できる。)
講義日程	別途通知する
出席の取り扱い	講義については、実習時の出席確認、Microsoft Formsや出席状況把握システム等にて出席を確認する。 すべての日程に参加すること。欠席した場合には、スキルスラボでのre-visitへの参加および自己研鑽を行うことを課す。
評価項目	独立した試験は行わない。出席条件を満たせば単位は認定する。 単位の認定にあたっての成績には、PreCC-OSCEの成績をあてる。
評価法	診療参加型臨床実習前客観的臨床能力試験（PreCC-OSCE）によって到達度の評価を行う。
予習・復習へのアドバイス	実習当日までに、手技動画を視聴し手順を頭に入れておきましょう。事前にイメージトレーニングをしておくことで、実習本番ではスムーズに手技を行えます。また、視聴しながら分からない点や疑問点があればメモを取り、当日指導医に質問するようにすると、より深い理解と確実な習得につながります
推奨参考サイト	PreCC-OSCEの手技動画については、追って通知する。

年度	2026年度	開講部局	医学部医学科		
講義コード	I1911002	科目区分	専門教育科目		
授業科目名	臨床実習I				
授業科目名 （フリガナ）	リンショウジッシュウ１				
英文授業科目名	Practice of Medicine I				
担当教員名	蓮沼　直子,三井　伸二,石川　洸,武島　幸男,AMATYA VISHWA JEET,櫛谷　桂,角　芙美,岩本　博志,桑井　寿雄,瀧川　英彦,堀益　靖,柘植　雅貴,岡田　剛,山崎　雄,丸山　博文,岡　志郎,大野　晴也,長野　学,村上　英介,佐伯　勇,住吉　辰朗,浅野　孝基,上神　慎之介,安部　智之,田中　暁生,大段　秀樹,上村　健一郎,岡田　賢,瀬山　剛,高崎　泰一,高橋　信也,中前　敦雄,栗原　將,森脇　昌哉,堀江　信貴,安達　伸生,山口　建,坂口　裕和,日向　信之,山崎　友美,中村　優子,川住　知弘,竹野　幸夫,築家　伸幸,石野　岳志,村上　祐司,後藤　景介,立神　史稔,大森　由里子,今野　伸樹,日山　知奈,堤　保夫,池田　晃太朗,岡村　祥央,大久保　陽策,宇都宮　裕人,楢崎　壮志,志馬　伸朗,大下　慎一郎,中野　由紀子,池永　寛樹,伊藤　公訓,松本　正俊,坪川　典史,岡田　守人,進藤　岳郎,前岡　侑二郎,平田　信太郎,永松　将吾,大毛　宏喜,正木　崇生,渡辺　裕文,三上　幸夫,中桐　徹也,服部　稔,中村　隆治,伊藤　英樹,小川　恵子,濱浪　嘉登,檜井　孝夫				
担当教員名 （フリガナ）	ハスヌマ　ナオコ,ミイ　シンジ,イシカワ　アキラ,タケシマ　ユキオ,アマティア　ヴィシュワ　ジート,クシタニ　ケイ,スミ　フミ,イワモト　ヒロシ,クワイ　トシオ,タキガワ　ヒデヒコ,ホリマス　ヤスシ,ツゲ　マサタカ,オカダ　ゴウ,ヤマザキ　ユウ,マルヤマ　ヒロフミ,オカ　シロウ,オオノ　ハルヤ,ナガノ　ガク,ムラカミ　エイスケ,サエキ　イサム,スミヨシ　タツアキ,アサノ　タカキ,ウエガミ　シンノスケ,アベ　トモユキ,タナカ　アキオ,オオダン　ヒデキ,ウエムラ　ケンイチロウ,オカダ　サトシ,セヤマ　ゴウ,タカサキ　タイイチ,タカハシ　シンヤ,ナカマエ　アツオ,クリハラ　ショウ,モリワキ　マサヤ,ホリエ　ノブタカ,アダチ　ノブオ,ヤマグチ　ケン,サカグチ　ヒロカズ,ヒナタ　ノブユキ,ヤマザキ　トモミ,ナカムラ　ユウコ,カワスミ　トモヒロ,タケノ　サチオ,チクイエ　ノブユキ,イシノ　タカシ,ムラカミ　ユウジ,ゴトウ　ケイスケ,タツガミ　フミナリ,オオモリ　ユリコ,イマノ　ノブキ,ヒヤマ　トモナ,ツツミ　ヤスオ,イケダ　コウタロウ,オカムラ　ショウ,オオクボ　ヨウサク,ウツノミヤ　ヒロト,ナラサキ　ソウシ,シメ　ノブアキ,オオシモ　シンイチロウ,ナカノ　ユキコ,イケナガ　ヒロキ,イトウ　マサノリ,マツモト　マサトシ,ツボカワ　ノリフミ,オカダ　モリヒト,シンドウ　タケロウ,マエオカ　ユウジロウ,ヒラタ　シンタロウ,ナガマツ　ショウゴ,オオゲ　ヒロキ,マサキ　タカオ,ワタナベ　ヒロフミ,ミカミ　ユキオ,ナカギリ　テツヤ,ハットリ　ミノル,ナカムラ　リュウジ,イトウ　ヒデキ,オガワ　ケイコ,ハマナミ　ヨシト,ヒノイ　タカオ				
研究室の場所				内線番号	
E-mailアドレス					
開講キャンパス	霞	開設期	4年次生　後期　集中		
曜日・時限・講義室	(集) 集中				
授業の方法	実習	授業の方法 【詳細情報】	対面, オンライン（同時双方向型）, オンライン（オンデマンド型） 病院内での実習		
単位	40	週時間		使用言語	B：日本語・英語
対象学生	医学科４，５年次生				
学修の段階	4：上級レベル				
学問分野(分野)	27：健康科学				
学問分野(分科)	01：医学				
授業のキーワード	クリニカルクラークシップ，実務経験				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ （学部生対象科目のみ）	卒後臨床研修を効果的に行うために基本的診療能力を身につける				
到達度評価の評価項目 （学部生対象科目のみ）	医学プログラム （知識・理解） ・器官・システムとその破綻による疾患に関する知識・理解 ・全身性疾患とその制御に関する知識・理解 （能力・技能） ・問題解決能力 ・基本的診察手技 ・コミュニケーション能力 ・問診技能 ・診療録記載 ・プレゼンテーション能力 （態度） ・共感と配慮 ・プロフェッショナリズム ・チーム医療・他者との協働 （総合的な力） ・統合的診療能力				
授業の目標・概要等	臨床実習マニュアルを参照。 医学プログラム ＜実践的能力・技能＞ ・臨床に必要な臨床能力、診察技能の習得				

授業の目標・概要等	＜総合的能力・技能＞ ・IT機器、医療情報活用能力
授業計画	医学教育センターHP（https://mededucation.hiroshima-u.ac.jp/index.html）、各診療科のシラバスを参照のこと。
教科書・参考書等	各診療科の教科書
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像資料, Microsoft Teams, Microsoft Stream, Microsoft Forms, その他（【詳細情報】を参照）
【詳細情報】	医学教育センターHP、各診療科のシラバスを参照。
授業で取り入れる 学習方法	
予習・復習への アドバイス	医学教育センターHP、各診療科のシラバスを参照。
履修上の注意 受講条件等	臨床実習を履修するにあたり、学生は感染症対策として実習開始前までにＢ型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘について、抗体の有無の確認しなければならない。検査の結果、抗体陰性だった者については、医療機関において、必要なワクチン接種を行い、接種証明書を学生支援グループ(医学部担当)へ提出すること。ワクチン接種後の確認の検査でなお抗体陰性だった場合には、再度ワクチン接種を行うことを推奨する。 また、保健管理センターで実施する直近の健康診断とレントゲン撮影による結核の有無等の診断も受けなければならない。保健管理センターで受診できない者については、学外の医療機関で健康診断、胸部レントゲン撮影を受け、結果の写しを保健管理センターまで提出すること。 以上を臨床実習開始の前日までに行わない者については、臨床実習の履修を認めない。
成績評価の基準等	実習中に知識、技能、態度を評価する
実務経験	有り
実務経験の概要と それに基づく授業内容	大学病院で臨床にかかわる医師が、診療現場で必要な実践的技能・知識・手技について指導する。
メッセージ	
その他	
すべての授業科目において，授業改善アンケートを実施していますので，回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力しており，今後の改善につなげていきます。	

年度	2026年度	開講部局	医学部医学科		
講義コード	I1920001	科目区分	専門教育科目		
授業科目名	臨床実習II				
授業科目名 （フリガナ）	リンショウジッシュウ２				
英文授業科目名	Practice of Medicine II				
担当教員名	蓮沼　直子,三井　伸二,武島　幸男,奈女良　昭,角　芙美,岩本　博志,桑井　寿雄,瀧川　英彦,堀益　靖,柘植　雅貴,岡田　剛,山崎　雄,丸山　博文,岡　志郎,大野　晴也,長野　学,村上　英介,佐伯　勇,住吉　辰朗,浅野　孝基,上神　慎之介,安部　智之,田中　暁生,大段　秀樹,上村　健一郎,岡田　賢,瀬山　剛,高崎　泰一,高橋　信也,中前　敦雄,栗原　將,森脇　昌哉,堀江　信貴,安達　伸生,坂口　裕和,日向　信之,山崎　友美,中村　優子,川住　知弘,竹野　幸夫,築家　伸幸,石野　岳志,村上　祐司,後藤　景介,立神　史稔,大森　由里子,今野　伸樹,日山　知奈,池田　晃太朗,岡村　祥央,大久保　陽策,宇都宮　裕人,楢崎　壮志,志馬　伸朗,大下　慎一郎,中野　由紀子,池永　寛樹,伊藤　公訓,堤　保夫,坪川　典史,岡田　守人,進藤　岳郎,岡本　渉,前岡　侑二郎,平田　信太郎,永松　将吾,大毛　宏喜,正木　崇生,渡辺　裕文,三上　幸夫,倉田　明子,中桐　徹也,服部　稔,中村　隆治,小川　恵子,濱浪　嘉登				
担当教員名 （フリガナ）	ハスヌマ　ナオコ,ミイ　シンジ,タケシマ　ユキオ,ナメラ　アキラ,スミ　フミ,イワモト　ヒロシ,クワイ　トシオ,タキガワ　ヒデヒコ,ホリマス　ヤスシ,ツゲ　マサタカ,オカダ　ゴウ,ヤマザキ　ユウ,マルヤマ　ヒロフミ,オカ　シロウ,オオノ　ハルヤ,ナガノ　ガク,ムラカミ　エイスケ,サエキ　イサム,スミヨシ　タツアキ,アサノ　タカキ,ウエガミ　シンノスケ,アベ　トモユキ,タナカ　アキオ,オオダン　ヒデキ,ウエムラ　ケンイチロウ,オカダ　サトシ,セヤマ　ゴウ,タカサキ　タイイチ,タカハシ　シンヤ,ナカマエ　アツオ,クリハラ　ショウ,モリワキ　マサヤ,ホリエ　ノブタカ,アダチ　ノブオ,サカグチ　ヒロカズ,ヒナタ　ノブユキ,ヤマザキ　トモミ,ナカムラ　ユウコ,カワスミ　トモヒロ,タケノ　サチオ,チクイエ　ノブユキ,イシノ　タカシ,ムラカミ　ユウジ,ゴトウ　ケイスケ,タツガミ　フミナリ,オオモリ　ユリコ,イマノ　ノブキ,ヒヤマ　トモナ,イケダ　コウタロウ,オカムラ　ショウ,オオクボ　ヨウサク,ウツノミヤ　ヒロト,ナラサキ　ソウシ,シメノブアキ,オオシモ　シンイチロウ,ナカノ　ユキコ,イケナガ　ヒロキ,イトウ　マサノリ,ツツミ　ヤスオ,ツボカワ　ノリフミ,オカダ　モリヒト,シンドウ　タケロウ,オカモト　ワタル,マエオカ　ユウジロウ,ヒラタ　シンタロウ,ナガマツ　ショウゴ,オオゲ　ヒロキ,マサキ　タカオ,ワタナベ　ヒロフミ,ミカミ　ユキオ,クラタ　アキコ,ナカギリ　テツヤ,ハットリ　ミノル,ナカムラ　リュウジ,オガワ　ケイコ,ハマナミ　ヨシト				
研究室の場所				内線番号	
E-mailアドレス					
開講キャンパス	霞	開設期	5年次生　後期　集中		
曜日・時限・講義室	(集) 集中				
授業の方法	実習	授業の方法 【詳細情報】	対面, オンライン（同時双方向型）, オンライン（オンデマンド型） 病院内・学外病院での実習		
単位	30	週時間		使用言語	B：日本語・英語
対象学生	5,6年次生				
学修の段階	4：上級レベル				
学問分野(分野)	27：健康科学				
学問分野(分科)	01：医学				
授業のキーワード	病棟実習、クリニカルクラークシップ，実務経験				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ （学部生対象科目のみ）	医学生が実習を通して成長することを目指す。病棟、地域医療施設にて医療チームの一員として、医療に携わる。				
到達度評価の評価項目 （学部生対象科目のみ）	医学プログラム （知識・理解） ・器官・システムとその破綻による疾患に関する知識・理解 ・全身性疾患とその制御に関する知識・理解 （能力・技能） ・問題解決能力 ・基本的診察手技 ・コミュニケーション能力 ・問診技能 ・診療録記載 ・プレゼンテーション能力 （態度） ・共感と配慮 ・プロフェッショナリズム ・チーム医療・他者との協働 （総合的な力） ・統合的診療能力				
授業の目標・概要等	基本的な診療の技術を習得する。				

授業計画	医学教育センターHP（https://mededucation.hiroshima-u.ac.jp/index.html）、各診療科のシラバスを参照のこと。
教科書・参考書等	各診療科の教科書
授業で使用する メディア・機器等	テキスト, 配付資料, 音声教材, 映像資料, Microsoft Teams, Microsoft Stream, Microsoft Forms, その他（【詳細情報】を参照）
【詳細情報】	医学教育センターHP、各診療科のシラバスを参照のこと。
授業で取り入れる 学習方法	ディスカッション, 小テスト／ クイズ形式, ロールプレイ, PBL（Problem-based Learning）／ TBL（Team-based Learning）, 反転授業, 授業後レポート
予習・復習への アドバイス	医学教育センターHP、各診療科のシラバスを参照のこと。
履修上の注意 受講条件等	臨床実習を履修するにあたり、学生は感染症対策として実習開始前までにＢ型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘について、抗体の有無の確認しなければならない。検査の結果、抗体陰性だった者については、医療機関において、必要なワクチン接種を行い、接種証明書を学生支援グループ(医学部担当)へ提出すること。ワクチン接種後の確認の検査でなお抗体陰性だった場合には、再度ワクチン接種を行うことを推奨する。 また、保健管理センターで実施する直近の健康診断とレントゲン撮影による結核の有無等の診断も受けなければならない。保健管理センターで受診できない者については、学外の医療機関で健康診断、胸部レントゲン撮影を受け、結果の写しを保健管理センターまで提出すること。 以上を臨床実習開始の前日までに行わない者については、臨床実習の履修を認めない。
成績評価の基準等	実習中に知識、技能、態度、プレゼンテーションおよびレポートについて評価する。
実務経験	有り
実務経験の概要と それに基づく授業内容	大学病院で臨床にかかわる医師が、診療現場で必要な実践的技能・知識・手技について指導する。
メッセージ	
その他	

すべての授業科目において，授業改善アンケートを実施していますので，回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力しており，今後の改善につなげていきます。

1（書類等の題名）

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書（学則変更の趣旨 P154）

※医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第 64 号）第 4 条に規定する都道府県計画等に位置づけることを広島県が約束する文書

令和９年度
医学部入学定員増員計画

広大総務第 26-89 号
令和８年８月２４日

文部科学省高等教育局長　殿

国立大学法人広島大学長
越　智　光　夫

「地域の医師確保等の観点からの令和９年度医学部入学定員の増加について（令和８年８月７日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	財務・総務室総務・広報部総務グループ 主査　伊藤　雄章
	TEL	082-424-6018
	E-mail	soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

大学名	国公私立
広島大学	国立

1．現在（令和８年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120	0	0	712

（収容定員計算用）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
（ア）入学定員	118	118	118	118	120	120	712
（イ）2年次編入学定員							0
（ウ）3年次編入学定員							0
計	118	118	118	118	120	120	712

2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和９年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105	0	0	630

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	105	105	105	105	105	105	630
（イ）2年次編入学定員							0
（ウ）3年次編入学定員							0
計	105	105	105	105	105	105	630
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3．令和９年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120	0	0	645

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	120	105	105	105	105	105	645
（イ）2年次編入学定員							0
（ウ）3年次編入学定員							0
計	120	105	105	105	105	105	645
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	**15**

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	**13**
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	**2**
計	**15**

広島大学

※意向調査時点からの修正・追記事項は赤字で記載をお願いします。

1　基礎医学及び社会医学の研究医養成のための入学定員増を実施する趣旨

１．研究医枠申請の趣旨
　臨床実習の必修化、専門医制度の厳格化に伴う基礎医学研究医や臨床研究医（physician sceintist）の減少が日本の医学研究の衰退に繋がっていると指摘されて久しいが、この状況を好転させるような画期的な方策は見いだせないのが現状である。さらに、医師の働き改革が令和6年4月から施行され、医学研究力復活への懸念が増している。このような状況下において、研究に従事可能な医師を確保するための方策を講じることは、日本の医学研究レベルの維持・発展のための喫緊の案件となっている。

　本学では、このような状況に鑑み、将来的な基礎医学研究医、臨床研究医の確保を目的として、**2009年度より、通常の医学科一般入試枠とは別に、学部4年次修了後に大学院博士課程に進学しPhD取得後、復学するMD-PhDコース（卒業まで9-10年間）を運用**している。現在まで総数48名（学部在学者18名、大学院博士課程在学者10名、PhD取得後学部卒業20名）が本入試枠（42名）あるいは一般選抜入試枠（6名）から本コースに進学し、全員がPhD既取得・予定者となっている。
【参考資料１】
　この度の研究医枠の増員を申請する趣旨は、このMD-PhDコースの入学定員をより堅固なものとし、「医師働き方改革下の研究力の維持・促進」に寄与する人材を確保することにある。そのための方策として、研究マインドの涵養と研究力向上について、MD-PhDコース入学者のほか一般枠学生への普及を積極的に図ることで、高度医療人材研究者の育成を目指す。

２．教育の実施体制・取り組み内容
　MD-PhDコースでは、学部4年次修了後に大学院博士課程に入学し3-4年間で学位を取得する。その後、学部5年次に復学し臨床実習を経て国家試験の合格を目指す。一般入試枠学生においては、学部4年次にMD-PhDコースへの参加希望者を募り、審査を経て合格した者をMD-PhDコース履修者として育成する。

●大学院入学以前
　・1年次より、主に基礎系研究室への見学・体験を続け、大学院入学後の所属研究室を決定する。決定後は大学院入学以前から、放課後・休暇中に研究活動を開始する。
　・最新の医学論文の理解を通じて、研究手法やプレゼンテーション技術を学ぶ授業「先端基盤医学方法論」を設置している。
　・MD-PhDコース生の自主的な勉強会を開催する。なお、これらの教育は高学年生が低学年生を教える「屋根瓦方式」で行われている。
●大学院入学後
　優れた研究業績を上げた者に認められる早期修了制度を活用し、3年間での学位取得を目指し、学生・教員共に努力する。
　学位審査の半年前には、「研究進捗報告会」を行い、研究内容と学位授与に必要な学識が担保できているかを確認する。
　大学院修了時に開催される「研究科発表会」は、公聴会として実施し、多数のMD-PhDコース生、関連教員が参加して活発な質疑応答を行う。
●学士課程復学後
　臨床実習に支障がない程度に研究活動を持続し論文執筆などを行う。
●卒業後研修医時
　希望者は、広島大学病院の基礎研究医育成・研修コースに参加し、初期研修期間中に半年間、研究に従事することができる。
●経済的支援
　大学院在学時には積極的にティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタントとして任用し、学費相当分の経済支援を実施している。
　大学院進学時には、申請によりSPRINGを基盤とした広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラムに基づく奨学金を支給している。

2　研究医養成拠点として相応しい実績

継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績	2009年にMD-PhDコースを開設以降、総勢48名が大学院に入学（予定含む）している。 ＜在籍状況等内訳＞ ・学部在学者　18名 ・大学院博士課程在学者　10名 ・PhD取得後学部卒業者　20名 ＜入試の内訳＞ ・MD-PhD入試枠　42名 ・一般選抜入試入学者からのコース参加　6名 ※別添２－１は、大学院改組後（2019年以降）の実績のみ記載 （2019-2026年度　大学院（MD-PhDコース）入学者数　総計29名）
資料	★送付の**【別添２－１】**に記入し、資料として添付すること ★併せて、実績を示す資料（図表等）を適宜添付すること

継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績	**2009年本コース開設以降、2026年3月現在、本コースからの卒業生を20名輩出**している。 なお、卒業後の内訳は下記のとおりで、初期研修修了者等のうち海外大学への研究留学の実績もある。現在、卒業生はほぼ初期研修医及び専門医・専攻医研修の期間であるため「臨床医」に従事している形となっているが、「4 研究医養成に関する取組状況②」にも記載のとおり、研究医となった際の常勤ポストの確保等、新たな取組により、研究医の輩出に繋げる。 初期研修医　　：6名 初期研修修了者：13名（内2名　海外大学への研究留学実績あり） 研究員　　：1名 ※別添２－２は、大学院改組後（2019年度以降大学院入学者）の実績のみ記載 （2022-2025年度　MD-PhDコース卒業者数　総計14名）。
資料	★送付の**【別添２－２】**に記入し、**資料として添付**すること ★併せて、実績を示す資料（図表等）を適宜添付すること

大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等 （過去３年間）	●採択事業名（採択年度） ・次世代のがんプロフェッショナル養成プラン（令和5年度） ・地域の医療ニーズに対応した先進的な薬学教育に係る取組支援（令和5年度） ・高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援）（令和6年度） ・高度医療人材養成事業（大学病院における医療人材養成環境の更なる高度化）（令和6年度） ・未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（令和７年度）

他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績 （過去３年間）	●令和7年度科学研究費（研究者が所属する研究機関別 採択件数（新規採択）） 採択件数386件(採択件数ランキング11位) 「研究者が所属する研究機関別 採択件数 上位30機関（令和7年度 新規採択）」 【参考資料２】 ●2026年分野別QS世界大学ランキング（QS World University Rankings by Subject） 医学分野（Academic Reputation, Employer Reputation, Citations per Paper, H-index Citations, International Research Network）のランキングで，国内11位，中四国では1位 【参考資料３】

広島大学

3　研究医養成に関する取組状況①

（1）設定する学部・大学院教育を一貫して見通した特別コースの概要及び履修者の確保状況

特別コース名①	広島大学医学部医学科－大学院医系科学研究科連携コース（MD-PhDコース）
特別コース①の概要（※）	※2009年に本コース開設 医学部卒業前に博士号（PhD）を取得できる研究者養成を目指したコース。 学部4年次修了後に大学院博士課程に進学し、PhD取得後に学部5年次に復学、臨床実習を経て学部卒業とともに医師国家試験に合格し医師免許（MD）を取得する。入学からMD取得までに計9～10年を要する。【参考資料１】
特別コース名②	
特別コース②の概要（※）	
特別コース名③	
特別コース③の概要（※）	

※本欄には特別コースの概要を簡潔に記載し、その具体的な内容（学年進行、履修内容等）がわかる資料を添付すること
※特別コース開始後、これまでにその内容に変更があった場合又は今後変更する予定がある場合には、その旨を記載するとともに、変更前と変更後の両方の資料を添付すること

特別コースの履修者の確保状況等	★履修者の確保状況を【別添２－３】に記入し、資料として添付すること ★特別コースの各ルートについて【別添２－４】に記入し、資料として添付すること ★特別コースの募集要項を添付すること（様式自由） ★特別コースの概要資料を適宜添付すること（様式自由）

（2）複数大学の連携によるコンソーシアムの形成

連携先大学	神戸大学
連携先大学との取組の概要（※）	定期的に大学院生・学部生の研究発表会を行うこととし、2026年度は、7月4日に京都大学の主催で実施される関西医学生リトリート（神戸大学、大阪大学、京都大学　広島大学が参加）に参加した。 関西医学生リトリートは、現在、神戸大学、大阪大学、京都大学が主体となって運営しており、毎年夏季に開催されている。2025年度より広島大学も本リトリートに参画し、学生同士の交流、互いの研究成果の発表や研究ディスカッションを通して連携を深めている。

※過去に入学定員増を実施した大学においては、過去の取組と今後の取組の両者について記載すること

連携大学との役割分担（※自大学の役割含む）	関西医学生リトリートは、これまで神戸大学、大阪大学、京都大学が持ち回りで主催を担ってきたが、2025年度より広島大学も新たに参画していることを踏まえ、本学の運営参画の在り方については、今後、関係大学との協議を通じて検討を進めていく予定である。本年度の開催概要を添付する。【参考資料４】

（3）研究医としての従事を条件とする奨学金制度の概要及び奨学金の給付等の状況

	①	②	③
奨学金・修学資金 制度名	広島大学医学部MD-PhDコース生支援金【新規】	広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING））【既設】 【参考資料５】	
奨学金の種別	給付型	給付型	
貸与時期・金額	学部5・6年次生に対し、毎月2万円を最大24か月間給付	博士課程後期又は4年生博士課程学生に対し、入学から最大3年間（4年制課程の場合は4年間）給付する。 研究専念支援金として月額19万円を入学から最大3年間（4年制課程の場合は4年間）支給。 併せて研究費として、入学から最大3年（4年制課程の場合は4年）を上限として、 年額40万円以内を配分。さらに優秀な成果・成績を挙げた場合は12万円を3月に追加支給。	
従事要件	本学部のMD-PhDコースに在籍し、大学院を修了し学位を取得していること	・広島大学で博士号を取得した後も我が国の科学技術・イノベーション創造に直接携わる意思を有する者 ・広島大学大学院博士課程後期又は4年生博士課程に在学している者（入学予定者含む）で、前年度収入が240万円となることが見込まれない者	
奨学金制度の概要（※）	PhD取得後、学部5・6年次に復学した際の新たな支援策として新たに構築する。今後、給付額を増額予定である。	博士課程後期学生が安心して研究に集中できる環境を整え、我が国の将来の科学技術・イノベーションに貢献する研究者育成・支援プログラムとして設置。全学で毎年120名程度の学生を採択している。	

※本欄には奨学金制度の概要を簡潔に記載し、その具体的な内容（対象者、金額等）がわかる資料を添付すること
※奨学金制度開始後、これまでにその内容に変更があった場合又は今後変更する予定がある場合には、その旨を記載するとともに、変更前と変更後の両方の資料を添付すること

奨学金の給付等の状況	①広島大学医学部MD-PhDコース生支援金【新規】 令和7年度入学生から新設のため、現時点での給付実績はない。 ②広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING））【既設】 【参考資料６】 2026年4月支援開始分　募集人員 D1　　130名程度 D2及びD3　10名程度

（4）キャリア支援

研究医としてのキャリア支援に関する取組	卒後初期研修に、厚生労働省「基礎研究医プログラム」を基盤とした「基礎研究医育成・研修コース」を開設している。 卒後初期研修を修了したMD-PhDコース生を対象に、2年間の任期制・非テニュア教員ポストである「選抜助教」および、その後の3年間の「育成助教」ポストの整備を検討中である。さらに、若手研究医の育成を目的とした2年間の「病院選抜助教」ポストへの優先的配置を進めており、現在、病理学分野に1名を配置している。

（5）海外での研究・研修の機会提供の取組及び医学部学生の採用状況

海外での研究・研修の機会提供の取組	①医学研究実習（海外大学への短期留学） 学部4年次生が4か月間、研究室に配属されて教授の指導のもと、基礎医学研究に専念する研究実習を実施しており、他大学・研究所のほか、海外大学への短期留学も行っている。 ②臨床実習（海外留学） 学部5年次生の臨床実習先として、学業優秀な学生を海外協定校に派遣している。 渡航費の補助として下記の支援体制を構築している（いずれも成績要件等有り）。 ●「広島大学基金児玉派遣留学奨学金」 滞在費7万円/月、渡航費8万円（最大30万円） ●「広島大学医学部医学科臨床実習Ⅱ海外派遣支援金」 旅費10万円
医学部学生の採用状況	①医学研究実習（海外大学への短期留学） 毎年10-15名参加。2025年度の海外派遣先は6か国10か所で計13名派遣。 ②臨床実習（海外留学） 毎年10-15名参加。2025年度はハノーファー医科大学、アイルランガ大学、ペンシルベニア大学等11大学に20名派遣。

広島大学

4　研究医養成に関する取組状況②

専用の入試枠の設定による選抜の実績の有無	有
実績「有」の場合	
選抜方式	総合型選抜方式 【参考資料７、参考資料８】
要件	本学部医学科4年次修了時に休学し、本学大学院医系科学研究科に入学、基礎・社会医学系研究室に所属して4年間（早期終了の場合は3年間）の博士課程修了後、再び医学科5年次に復学する。
資料	★選抜方法がわかる資料（募集要項等）を添付すること（様式自由）
実績「無」の場合	
今回の入学定員増にあわせて別枠方式を実施する予定の有無	無
【※予定「無」の場合※】別枠方式を実施しない理由	一般選抜から研究医へ進む学生を育成するため。
学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置（※）	①学部学生への研究支援 4年次生の「医学研究実習」において、学生一人当たり3万円の研究費を所属研究室に配分。 ②大学院生への国際学会支援 大学院生が研究成果を国際学会で発表する際の学会参加費及び渡航費の全部または一部を支援。 東アジア地域、東南アジア地域での学会・・・最大5万円 その他の地域での学会 ・・・・・・・・・・・最大10万円 （2025年度実績：66人に支給） ③博士課程後期学生への研究支援（広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING））【参考資料４】 研究専念支援金として、入学から最大3年間（4年制課程の場合は4年間）、月額19万円を支給。併せて研究費として、入学から最大3年（4年制課程の場合は4年）を上限として、年額40万円以内を配分。全学で毎年120名程度の学生を採択している。 さらに優秀な成果・成績を挙げた場合は12万円を3月に追加支給。 ④MD-PhDコース大学院入学助成金 広島大学医学部広仁会（医学部同窓会組織）から、大学院入学金の補助として学生一人につき10万円支給。

学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築	
形式	①MD-PhDコース大学院生の学会発表・論文発表 　大学院生の所属研究室が主体となって関連学会への発表、国際誌への論文発表を行っている。 ②医学研究実習発表会 　学部4年次生が4か月間、研究室に配属されて教授の指導のもと、基礎医学研究に専念する実習。他大学・研究所、海外の大学への短期留学の実績もある（2025年度の海外派遣先は6か国10か所で計13名派遣）。本授業終了時に参加学生全員による成果発表を行う。
具体的な内容（※）	①MD-PhDコース大学院生の学会発表・論文発表 　大学院生の所属研究室が主体となり、研究室及び指導教員の責任で実施・計画されている。 ②医学研究実習発表会 　参加学生全員がポスター発表により成果を発表する。成績優秀者は口頭発表も併せて行う。配属研究室から学会発表、論文発表を行うこともある。 　指導体制としては、本授業取りまとめ教員5名、研究指導及び審査担当教員約60名、学生支援事務員7名の陣容で実施している。
資料	★学会発表・論文発表の機会（リトリート、コンソーシアム合宿等）の概要が分かる資料を添付すること（様式自由）

研究医となった際の常勤ポストの確保の取組	選抜助教（非テニュア教員　2年任期）、 選抜助教終了後に育成助教（非テニュア教員　3年任期）ポストの確保を検討中 病院選抜助教（非テニュア教員　2年任期）への優先的採用

特別コースの卒業生の状況
平成21年度入学　平成30年度卒業　1名　（心臓血管生理医学　※一般選抜入学者） 平成24年度入学　令和 2年度卒業　3名　（分子病理学、神経生理学、ウイルス学） 平成25年度入学　令和 3年度卒業　2名　（医化学、病理学） 平成25年度入学　令和 4年度卒業　1名　（神経薬理学） 平成26年度入学　令和 4年度卒業　2名　（分子病理学、神経薬理学（皮膚科）） 平成27年度入学　令和 5年度卒業　4名　（医化学、心臓血管生理医学、病理学、分子病理学） 平成28年度入学　令和 6年度卒業　2名　（分子病理学、生命倫理学（大阪大学出向）） 平成28年度入学　令和 7年度卒業　1名　（法医学） 平成29年度入学　令和 7年度卒業　4名　（神経薬理学2名、病理学、解剖学及び発生生物学　※一般選抜入学者）

臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮	広島大学病院では、基礎研究医育成・研修コースを設置し、シームレスな研究活動の継続を支援している。

その他研究医に必須の能力を養成する上で必要不可欠と考えられる取組	①「先端基盤医学方法論」（低学年次から科学論文の解釈力を涵養させるための授業）を実施 ②学生主体で行う自主セミナーの実施（学生の主体性・積極性を涵養するための重要な取組） ③大学院生の学位予備審査会への参加（研究内容の理解と議論の場を提供するため）

5　過去に当該枠組みにより入学定員増を実施した場合の現在の状況

大学が講ずることとされた措置の履行状況（※）	本学では、MD-PhDコースを設置し、基礎医学・臨床研究に従事する研究医を養成するための環境整備を行ってきた。 学部4年次の「医学研究実習」を必修化し、4か月間研究室に配属し、教授指導のもと基礎医学研究に専念する機会を確保している。 平成29年度からは「先端基盤医学方法論」を自由科目として新設し、MD-PhDコース生以外の一般入試枠入学者にも「先端基盤医学方法論」の受講を可能とすることで、研究方法・プレゼンテーション技術の学習機会を提供している。 神戸大学との間で大学院生・学部生合同の研究発表会の開催を企画調整し、大学間のコンソーシアム形成により研究力向上を図っている。 MD-PhDコース生の活動状況や授業の様子、コース生紹介等をホームページや公式X（旧Twitter）で公開し、受験希望者の相談対応など研究医養成枠の情報発信を行っている。 「医学研究実習」の成果発表会には1～3年次生も参加可能としており、研究医養成の裾野拡大を図っている。 MD-PhDコースの博士課程進学者に対して、SPRINGを基盤とした広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラムの奨学金の支給実施、博士課程修了後にさらなる奨学金支給の検討を行い、実施に向けて調整中である。 MD-PhDコースの終了後は、任期付き助教の選抜助教やその後の育成助教のポジションを準備する検討を行った。 これらの措置は、計画書および要件に沿って着実に履行されており、研究医養成体制が継続的に運用されていることを確認している。

※過去に入学定員増を実施した際の要件、当時の増員計画書等を参照し、大学が講ずることとされた措置の全てが履行されていることを確認の上、その状況を記載すること

研究医養成に関する取組の有効性の確認（※）	●学生確保状況の確認 総合型選抜Ⅱ型（MD-PhDコース）の募集において、直近5年間の平均志願倍率は1.81倍を維持している。これにより、研究医養成を志望する学生が計画通り確保できていることを確認している。 ●教育課程の履行確認 学部4年次全員が「医学研究実習」を受講し、研究計画の立案、実験の実施、結果発表を行っていること、また「先端基盤医学方法論」の開講により研究方法論やプレゼンテーション技術習得の機会を提供し運用されていることを確認している。 ●研究進捗状況の確認 大学院進学後は早期修了制度を活用して学位取得を目指す過程で「研究進捗報告会」を開催し進捗状況を確認していること、また学位予備審査会を公聴会形式で実施し、発表内容や学識が確認されていることをもって研究活動の進展状況を把握している。 ●活動継続と連携の確認 神戸大学、京都大学、大阪大学と連携し、MD-PhDコース大学院生・学部生による合同研究発表会の企画・調整を進めている。本取組は昨年度は神戸大学、本年度は京都大学を主幹校として実施するとともに、今後の継続した取組実施計画を確認している。 これらの確認方法により、研究医養成に関する取組は計画通り履行されており、その有効性が高いことを確認している。

※過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともに記載すること